

食品安全モニター課題報告

「食品安全委員会からの情報発信について」（平成 22 年 1 月実施）の結果

1. 調査目的

食品安全モニター470名を対象に食品安全委員会が行った調査（平成 21 年 7 月）の結果において、食品安全委員会に期待することとして、「食品の安全性に関する科学的な根拠に基づいた情報の提供」、「緊急事態への対応（重要なお知らせのホームページ掲載、臨時メールマガジンの発行等）」等の回答が過半数であったため、平成 22 年 1 月 15 日から同月 29 日までを調査実施期間として、食品安全モニター470名を対象に、食品安全委員会からの情報発信について調査を実施した。

2. 調査項目

次の 4 項目である。

- 1) 食品安全委員会からの情報発信について
- 2) 食品安全委員会のホームページ等による情報発信について
- 3) 平成 21 年度食品安全モニター会議後の情報提供について
- 4) 新型インフルエンザに関する情報提供について

3. 実施期間

平成 22 年 1 月 15 日～1 月 29 日

4. 対象

食品安全モニター 470 名
有効回答数 348 名 （有効回答率：74.0%）

1) 食品安全モニターの回答者数の内訳

① 男女別：

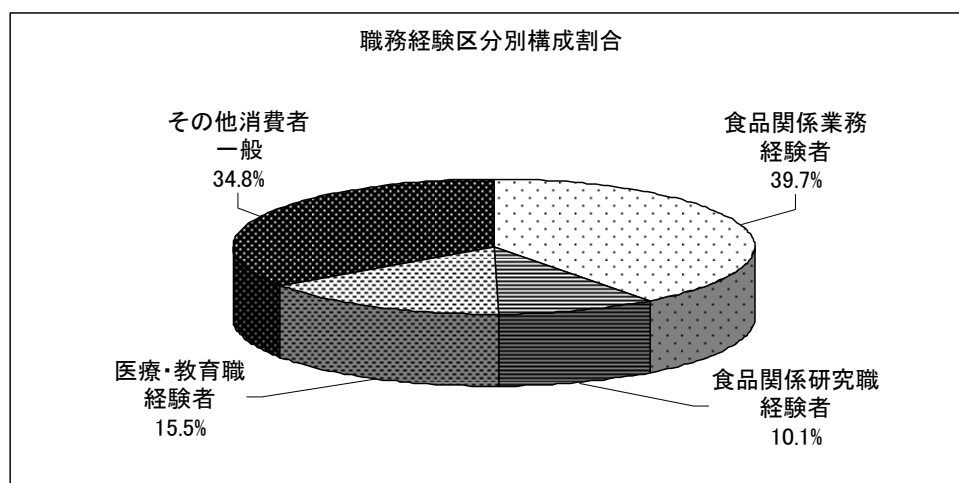
	回答者数	割合
全体	348 人	100.0%
男性	126 人	36.2%
女性	222 人	63.8%

② 年齢別：

	回答者数	割合
全体	348 人	100.0%
20～29 歳	19 人	5.5%
30～39 歳	73 人	21.0%
40～49 歳	100 人	28.7%
50～59 歳	60 人	17.2%
60～69 歳	86 人	24.7%
70 歳以上	10 人	2.9%

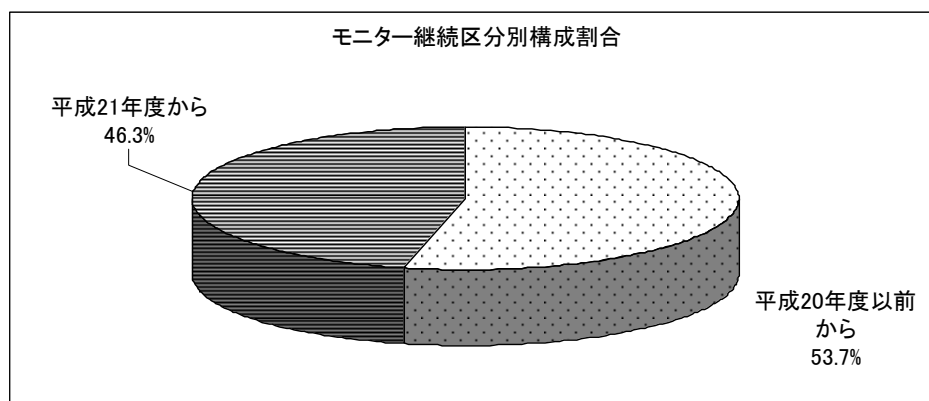
③ 職務経験区分別：

食品関係業務経験者	・現在もしくは過去において、食品の生産、加工、流通、販売等に関する職業（飲食物調理従事者、会社・団体等役員などを含む）に就いた経験を5年以上有している方 ・過去に食品の安全に関する行政に従事した経験を5年以上有している方	138 人
食品関係研究職経験者	・現在もしくは過去において、試験研究機関（民間の試験研究機関を含む）、大学等で食品の研究に関する専門的な職業に就いた経験を5年以上有している方	35 人
医療・教育職経験者	・現在もしくは過去において、医療・教育に関する職業（医師、獣医師、薬剤師、看護師、小中高校教師等）に就いた経験を5年以上有している方	54 人
その他消費者一般	・上記の項目に該当しない方	121 人



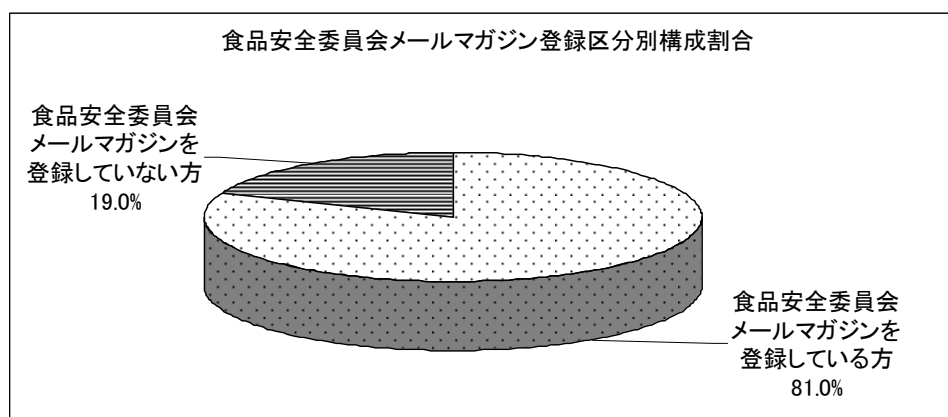
④ モニター継続区分別：

- 過去においても食品安全モニターに依頼されていた方
(以下「経験モニター」という) 187人
- 平成21年度から、食品安全モニターに依頼された方
(以下「新規モニター」という) 161人



⑤ 食品安全委員会メールマガジン登録区分別：

- 食品安全委員会メールマガジンを登録している方 282人
- 食品安全委員会メールマガジンを登録していない方 66人



⑥ 平成21年度食品安全モニター会場別会議出席区分

会場	出席		欠席	
	回答者数	割合	回答者数	割合
千歳	8人	3.2%	3人	3.1%
仙台	22人	8.7%	7人	7.3%
東京	85人	33.7%	30人	31.3%
名古屋	33人	13.1%	14人	14.6%
大阪	43人	17.1%	22人	22.9%
岡山	28人	11.1%	8人	8.3%
福岡	33人	13.1%	12人	12.5%
合計	252人	100.0%	96人	100.0%

5. 調査結果

1) 食品安全委員会からの情報発信について

① 食品安全委員会からの情報で重要と考えているもの（問1）

問1 あなたがよく利用する食品安全委員会から発信された情報のうち、情報源として重要と考えているものはどれですか。

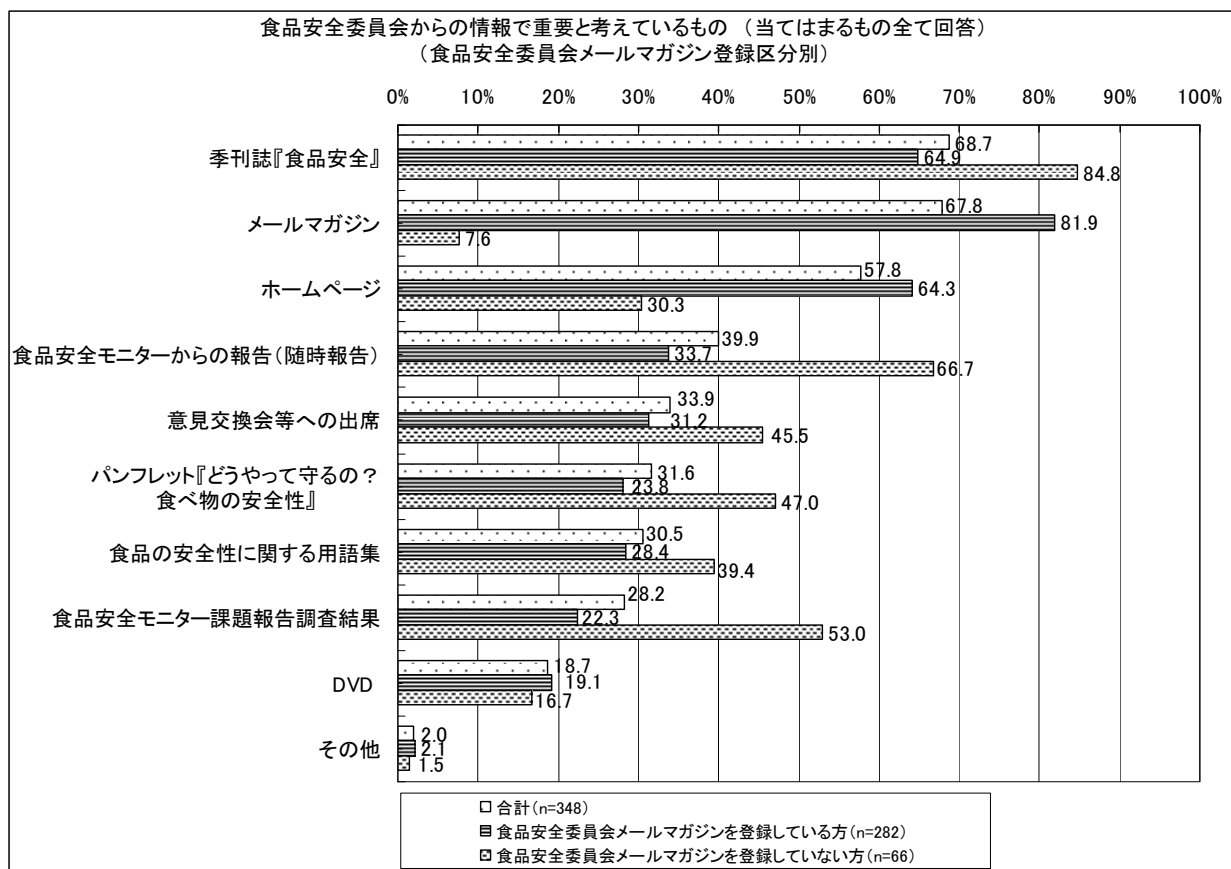
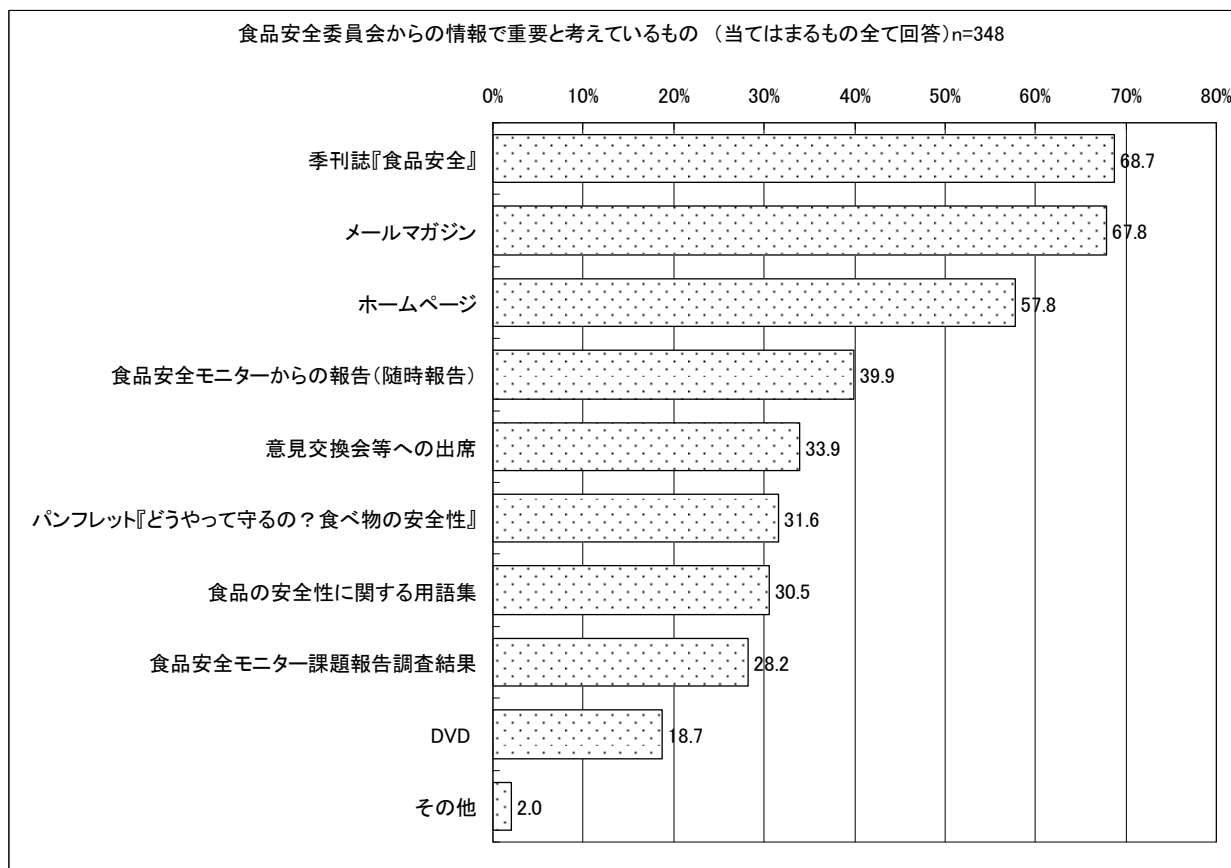
- ◆ 食品安全委員会から発信される情報で重要と考えているものについて、回答割合が高い順は「季刊誌『食品安全』」(68.7%)、「メールマガジン」(67.8%)、「ホームページ」(57.8%)
- ◆ 食品安全委員会メールマガジンを登録している人が、食品安全委員会からの情報で重要と考えているものの回答割合が高い順は、「メールマガジン」(81.9%)、「季刊誌『食品安全』」(64.9%)、「ホームページ」(64.3%)の順で、食品安全委員会メールマガジンを登録していない人は、「季刊誌『食品安全』」(84.8%)、「食品安全モニターからの報告(随時報告)」(66.7%)、「食品安全モニター課題報告調査結果」(53.0%)の順
- ◆ 食品安全モニター会議出席者が食品安全委員会からの情報で重要と考えているものについて、回答割合が高い順は、「季刊誌『食品安全』」(71.0%)、「メールマガジン」(67.1%)、「ホームページ」(59.5%)であったが、欠席者は「メールマガジン」(69.8%)、「季刊誌『食品安全』」(62.5%)、「ホームページ」(53.1%)の順
- ◆ 食品安全モニター会議出席者と欠席者で、食品安全委員会からの情報で重要と考えているものについて、回答割合の差が目立ったは、「食品安全モニターからの報告(随時報告)」、「意見交換会等への出席」、「食品の安全性に関する用語集」

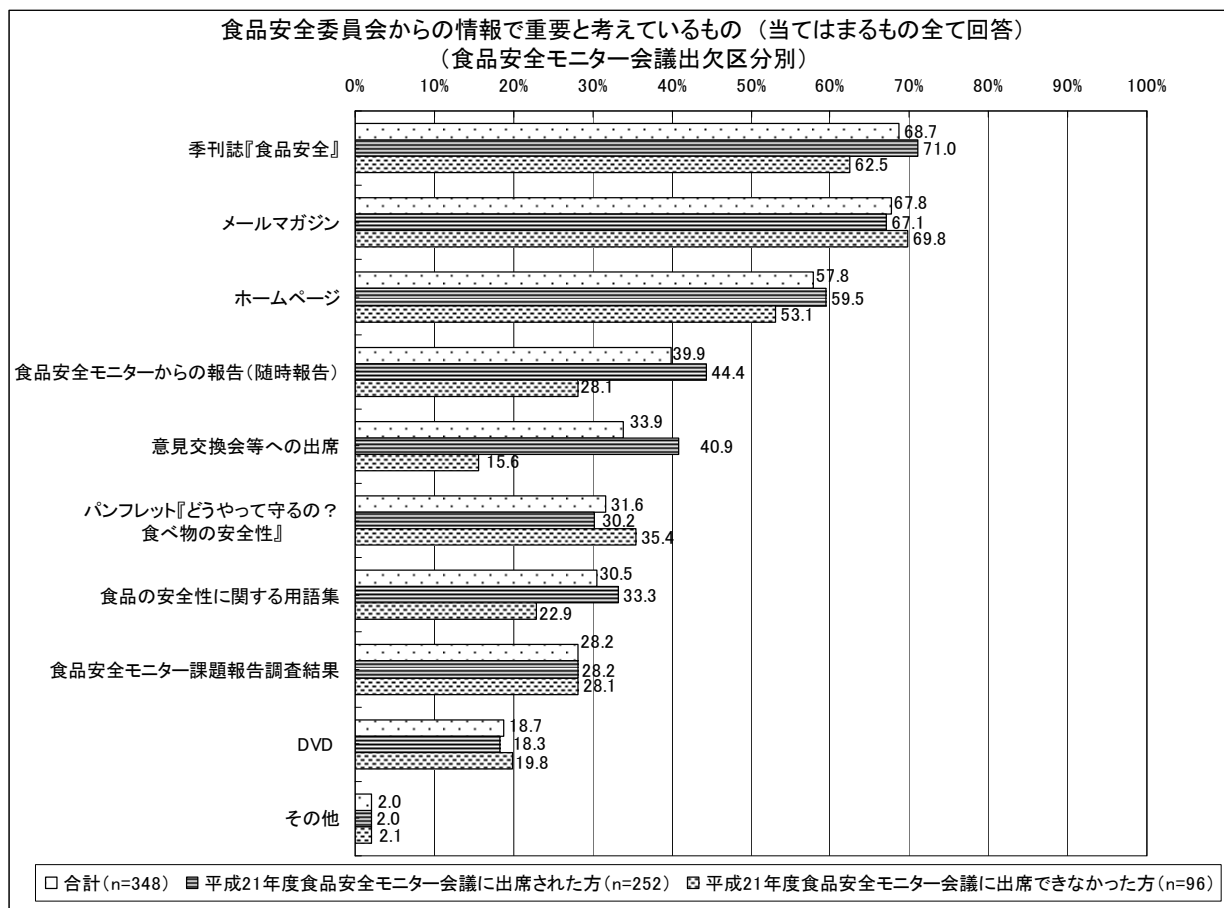
食品安全委員会から発信される情報で重要と考えているものについて、最も回答割合が高かったのは「季刊誌『食品安全』」で68.7%であった。続いて、「メールマガジン」が67.8%、「ホームページ」が57.8%で、以上4つについては過半数以上の回答割合であった。続いて「食品安全モニターからの報告(随時報告)」が39.9%、「意見交換会等への出席」が33.9%、パンフレット『どうやって守るの？食べ物の安全性』が31.6%、「食品の安全性に関する用語集」が30.5%、「食品安全モニター課題報告調査結果」28.2%、「DVD」が18.7%であった。

食品安全委員会メールマガジンの登録の有無で、食品安全委員会から発信される情報で重要と考えているものの回答割合の順位は異なり、食品安全委員会メールマガジンの登録者は、「メールマガジン」(81.9%)、「季刊誌『食品安全』」(64.9%)、「ホームページ」(64.3%)の順であるのに対し、食品安全委員会メールマガジンを登録していない人は、「季刊誌『食品安全』」(84.8%)、「食品安全モニターからの報告(随時報告)」(66.7%)、「食品安全モニター課題報告調査結果」(53.0%)の順であった。

また、食品安全モニター会議の出欠の違いでも、食品安全委員会から発信される情報で重要と考えているものの回答割合の順位は異なり、食品安全モニター会議出席者が食品安全委員会からの情報で重要と考えているものについて回答割合が高い順は、「季刊誌『食品安全』」(71.0%)、「メールマガジン」(67.1%)、「ホームページ」(59.5%)であったが、欠席者は「メールマガジン」(69.8%)、「季刊誌『食品安全』」(62.5%)、「ホームページ」(53.1%)の順であった。さらに、出席者と欠席者の回答割合の差が目立ったものとして、「食品安全モニターからの報告(随時報告)」は出席者が44.4%、欠席者が28.1%、「意見交換会等への出席」は出席者が40.9%、欠席者は15.6%、「食品の安全性に関する用語集」については出席者が33.3%、欠席

者が 22.9%であった。





問1：⑩その他（具体的に記入してください）（回答者数6名）

食品安全委員会からの情報で重要と考えているものとして、新聞等に掲載されている食品安全委員会の記事とする回答が複数あった。その他の意見としては、リスクコミュニケーター養成講座、食品安全委員会のシンポジウム等や講演会などがあった。

②食品安全委員会からの情報の活用（問2）

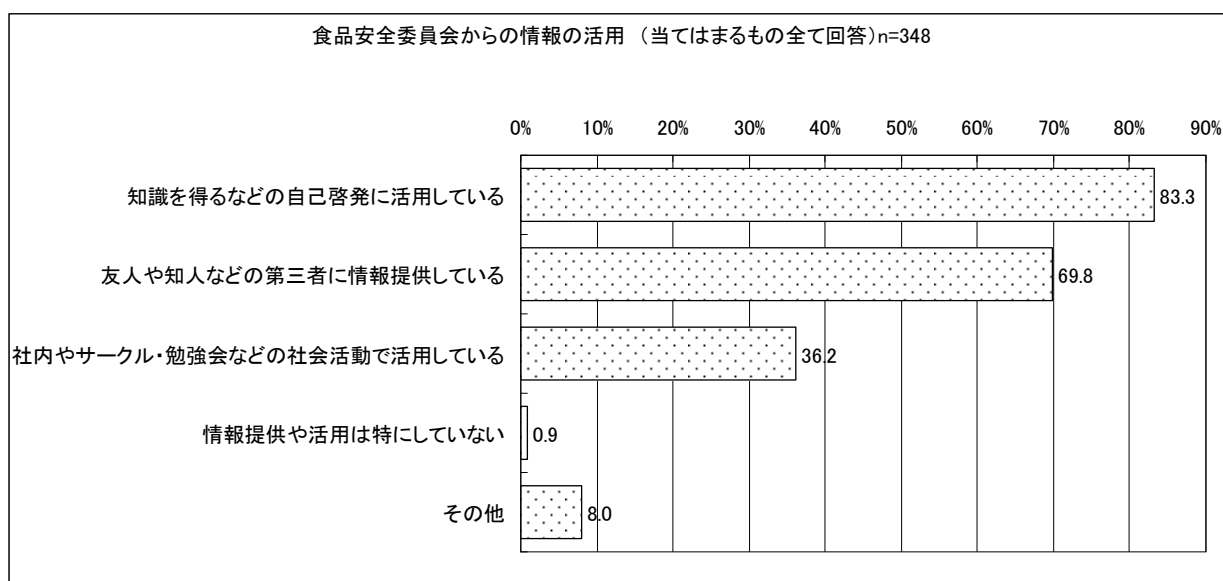
問2 あなたは、食品安全委員会からの情報をどのように活用していますか。

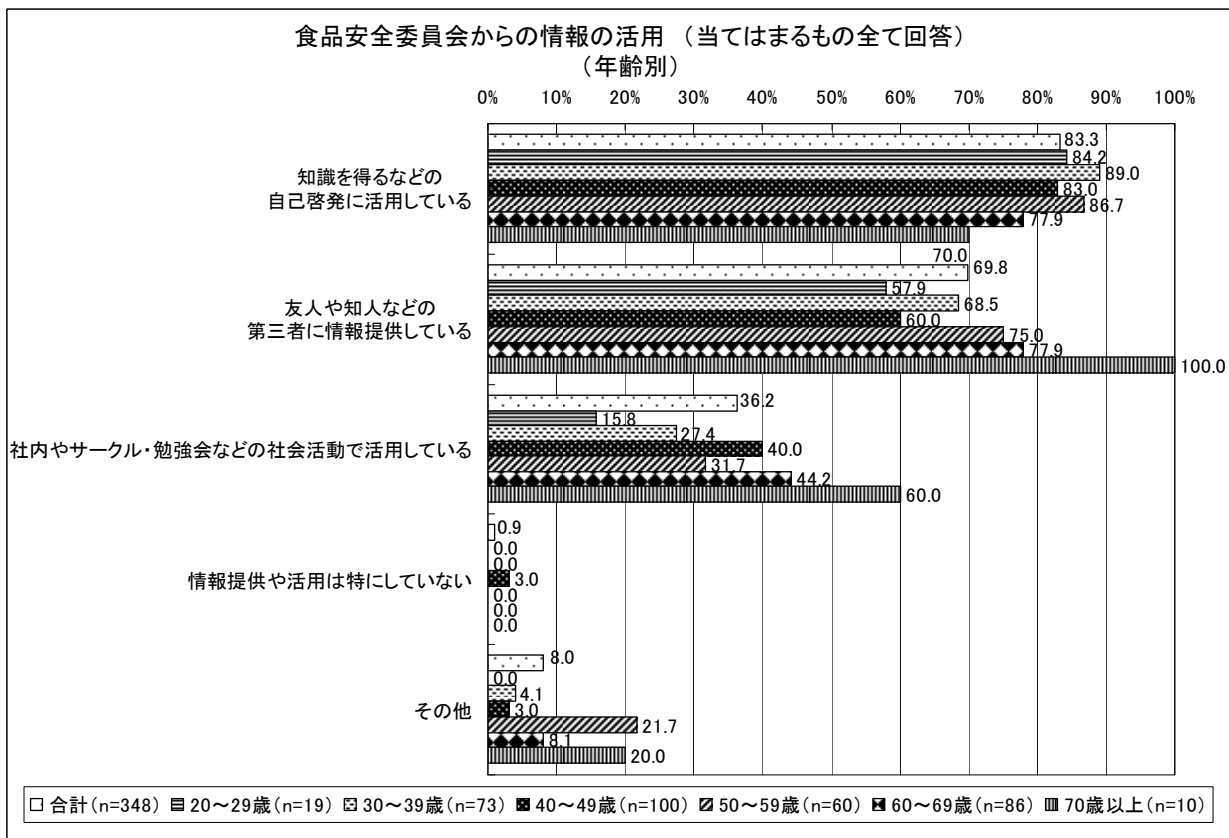
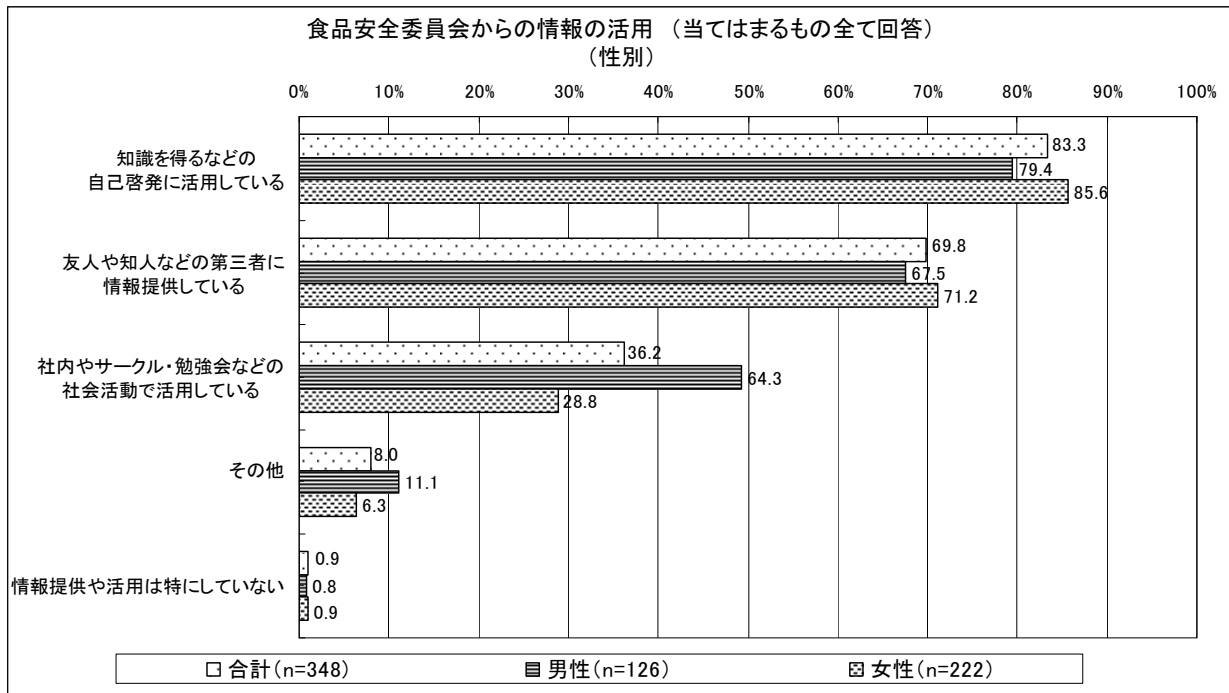
- ◆ 食品安全委員会から発信されている情報の活用方法の回答割合が高い順は、「知識を得るなどの自己啓発に活用している」(83.3%)、「友人や知人などの第三者に情報提供している」(69.8%)、「社内やサークル・勉強会などの社会活動で活用している」(36.2%)
- ◆ 性別による食品安全委員会から発信されている情報の活用方法の回答割合の違いとしては、「知識を得るなどの自己啓発に活用している」、「友人や知人などの第三者に情報提供している」の回答割合は、男性より女性が高く、「社内やサークル・勉強会などの社会活動で活用している」は女性より男性の方が高い
- ◆ 40～49歳、60～69歳、70歳以上では、他の年代に比べて「社内やサークル・勉強会などの社会活動で活用している」とする回答割合が高い

食品安全委員会から発信される情報の活用方法について、回答割合が高い順は「知識を得るなどの自己啓発に活用している」(83.3%)、「友人や知人などの第三者に情報提供している」(69.8%)、「社内やサークル・勉強会などの社会活動で活用している」(36.2%)であった。

性別による回答割合の違いとしては、「知識を得るなどの自己啓発に活用している」については、女性が85.6%、男性は79.4%、「友人や知人などの第三者に情報提供している」については、女性は71.2%、男性が67.5%であり、男性より女性が高かった。逆に、「社内やサークル・勉強会などの社会活動で活用している」については、女性より男性が高く、男性が64.3%、女性が28.8%であった。

年齢別では、「社内やサークル・勉強会などの社会活動で活用している」について、20～29歳は15.8%、30～39歳は27.4%、40～49歳は40.0%、50～59歳は31.7%、60～69歳は44.2%、70歳以上は60.0%で、40～49歳、60～69歳、70歳以上は、他の年代に比べてとする回答割合が高かった。





問2：④その他（具体的に記入してください）（回答者数 22 名）

食品安全委員会からの情報の活用として、授業や講義等の教材として活用するとの回答が最も多く、次いで社内での研修等に活用するとの意見が複数あった。その他の意見として、家族内での情報共有や講演会、自身のホームページ、公共施設への寄贈などの意見があった。

2) 食品安全委員会のホームページ等による情報発信について

① 食品安全委員会のホームページの閲覧頻度（問3）

問3 あなたは食品安全委員会のホームページをどの程度見ていますか。

- ◆ ホームページの閲覧頻度の回答割合は「月に数回見ている」(35.5%)、「これまで数回見たことがある」(31.0%)、「週に数回見ている」(19.8%)の順
- ◆ 男性は女性に比べて、「ほぼ毎日見ている」「週に数回見ている」「月に数回見ている」とする回答割合が高い
- ◆ 60歳以上は他の年代に比べて、「ほぼ毎日見ている」「週に数回見ている」「月に数回見ている」とする回答割合が高い
- ◆ 食品安全モニター会議出席者の方が、欠席者より、「ほぼ毎日見ている」「週に数回見ている」「月に数回見ている」とする回答割合が高い

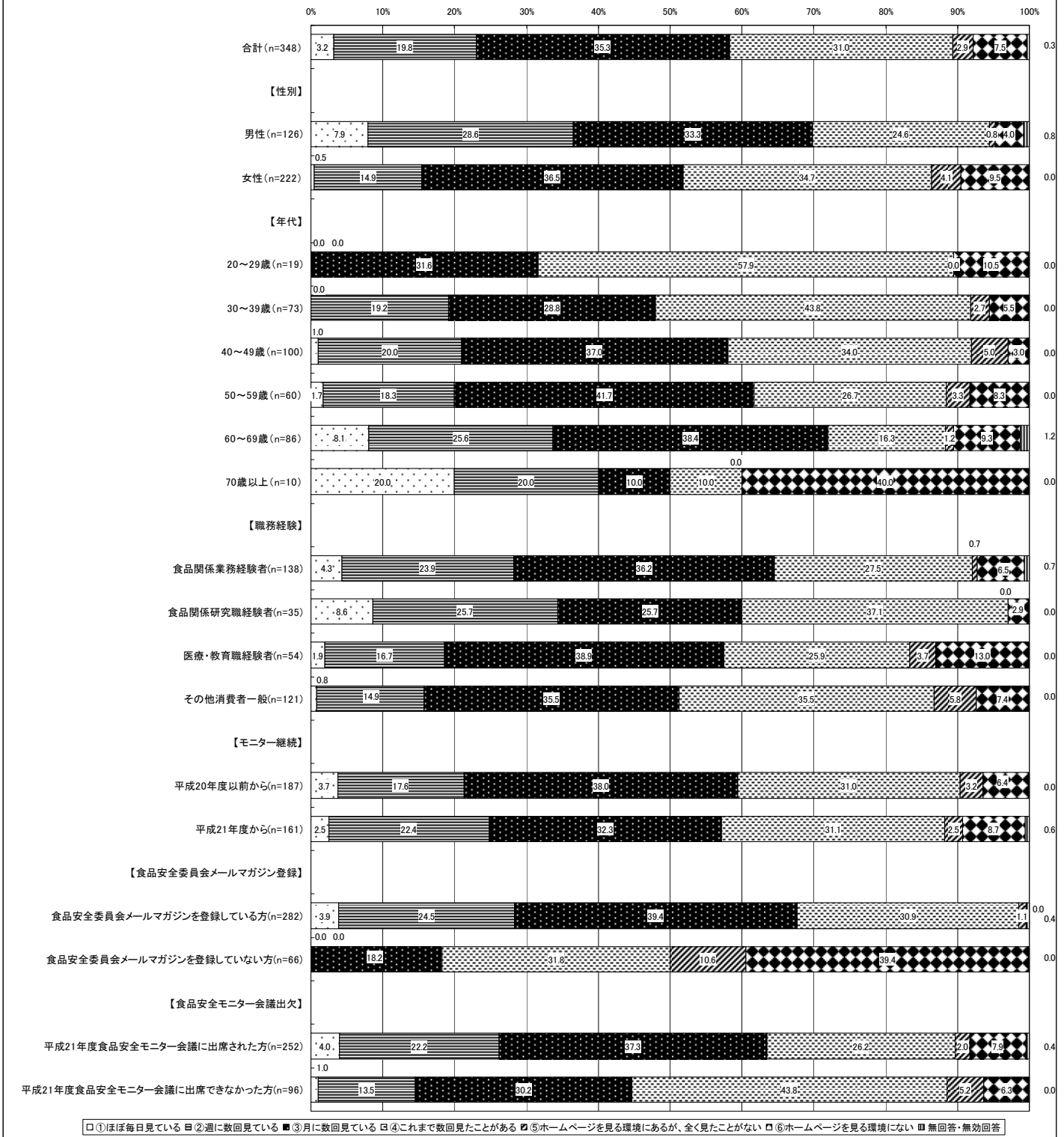
食品安全委員会のホームページの閲覧頻度では「月に数回見ている」の回答割合は35.5%、「これまで数回見たことがある」が31.0%、「週に数回見ている」が19.8%の順であった。

「ほぼ毎日見ている」「週に数回見ている」「月に数回見ている」の回答割合は、男性は69.8%、女性は51.9%であり、年代別では、60歳以上の回答割合が高く、60～69歳が72.1%、70歳以上が50.0%であった。

年代別では、60歳以上の「ほぼ毎日見ている」「週に数回見ている」「月に数回見ている」の回答割合が高く、60～69歳が72.1%、70歳以上が50.0%であった。

また食品安全モニター会議の出席者の「ほぼ毎日見ている」「週に数回見ている」「月に数回見ている」は63.5%、欠席者は44.7%の回答割合であった。

食品安全委員会のホームページの閲覧頻度



②食品安全委員会のホームページの項目別評価（問4）

問4 項目のそれぞれについて、あなたの評価を選択肢の中から1つずつ選んでください。
 （項目：情報発信量等 選択肢：非常に評価している～全く評価していない）

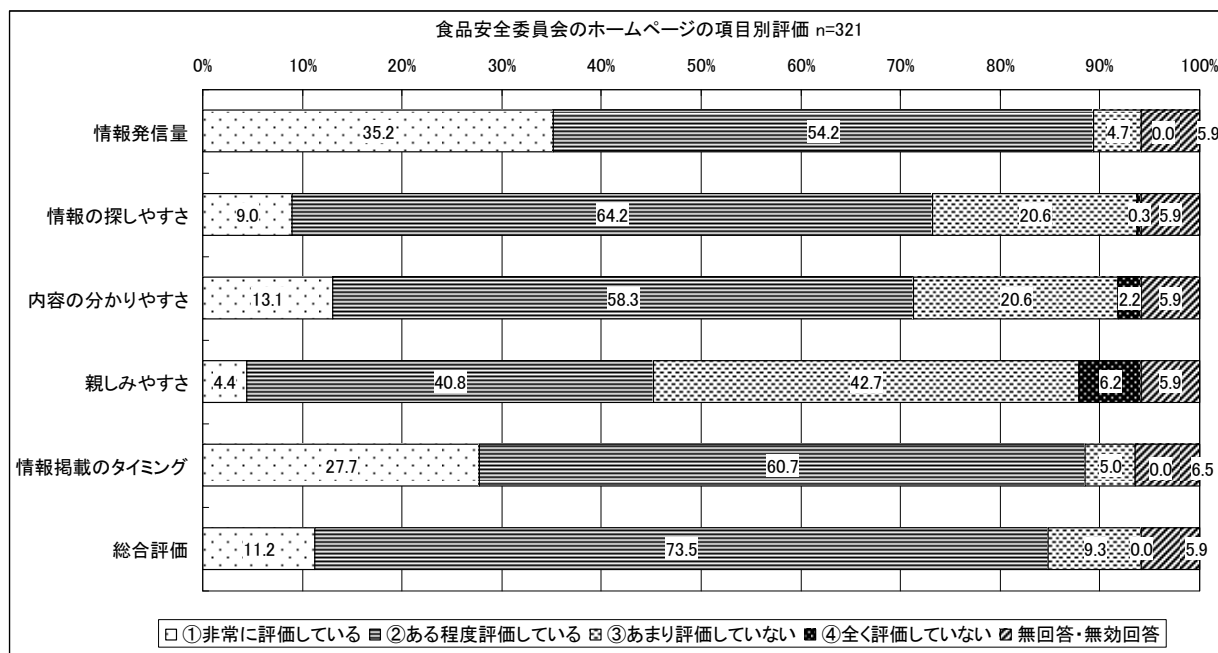
◆ 食品安全委員会のホームページについて「非常に評価している」「ある程度評価している」とする回答割合が高い項目は、「情報発信量」(89.4%)、「情報掲載のタイミング」(88.4%)、「情報の探しやすさ」(73.2%)、「内容のわかりやすさ」(71.4%)、「親しみやすさ」(45.2%)の順

◆ 食品安全委員会のホームページに対する総合評価は、「非常に評価している」「ある程度評価している」とする回答割合は84.7%

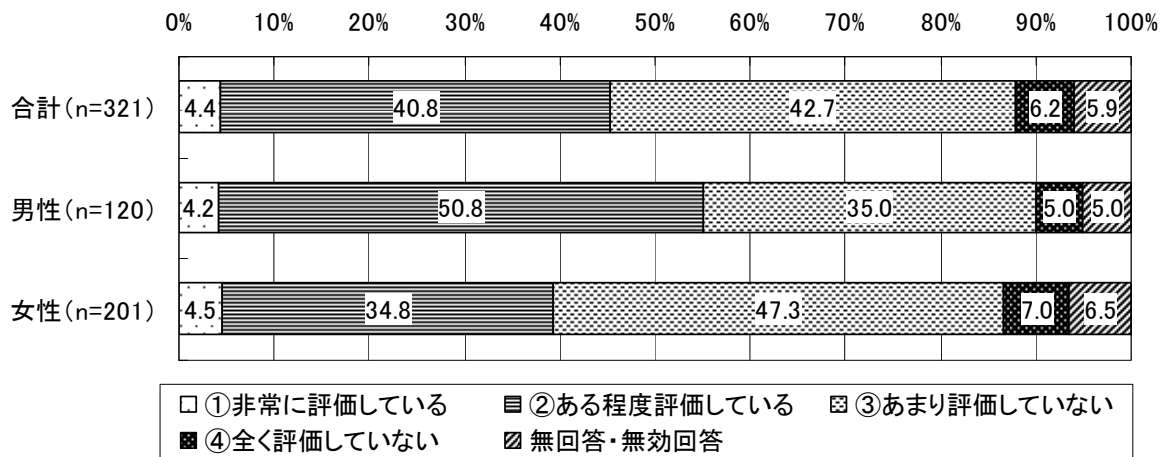
◆ 食品安全委員会のホームページの親しみやすさ、総合評価に対する性別による評価では、男性より女性の方が低い（「非常に評価している」「ある程度評価している」とする回答割合は、親しみやすさは男性(55.0%)、女性(39.3%)、総合評価は男性(92.5%)、女性(80.1%)）
 食品安全委員会のホームページについて「非常に評価している」「ある程度評価している」とする回答割合が高い項目は、「情報発信量」では89.4%、「情報掲載のタイミング」では88.4%、「情報の探しやすさ」では73.2%、「内容のわかりやすさ」では71.4%、「親しみやすさ」では45.2%であった。

食品安全委員会のホームページに対する総合評価は、「非常に評価している」「ある程度評価している」とする回答割合は84.7%であった。

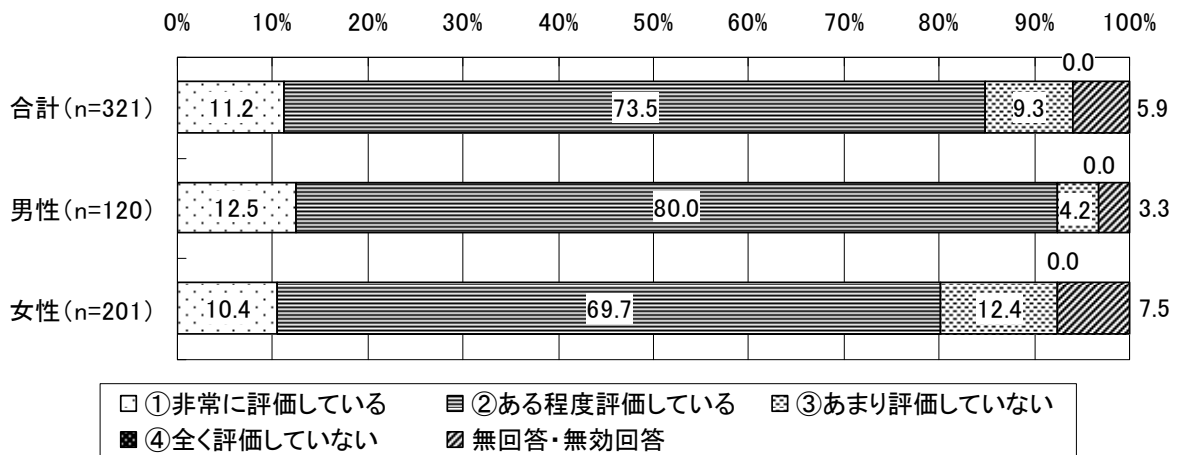
食品安全委員会のホームページの親しみやすさ、総合評価に対する性別による評価では、男性より女性の方が低く、「非常に評価している」「ある程度評価している」とする回答割合は、親しみやすさでは男性が55.0%、女性は39.3%で、総合評価では男性が92.5%、女性は80.1%であった。



食品安全委員会のホームページの親しみやすさの評価(性別)



食品安全委員会のホームページの総合評価(性別)



③食品安全委員会のメールマガジンの閲読状況(問5)

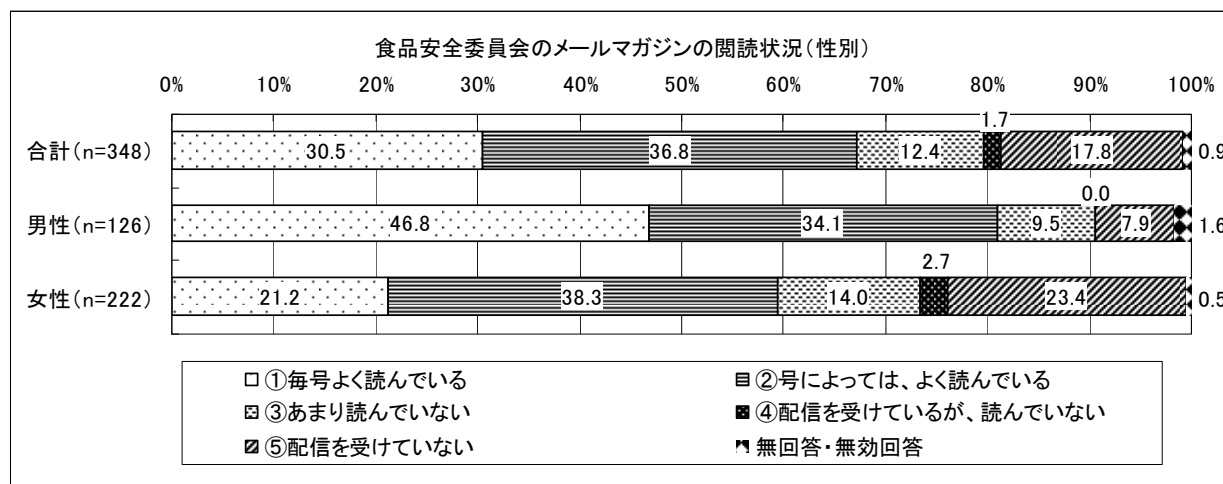
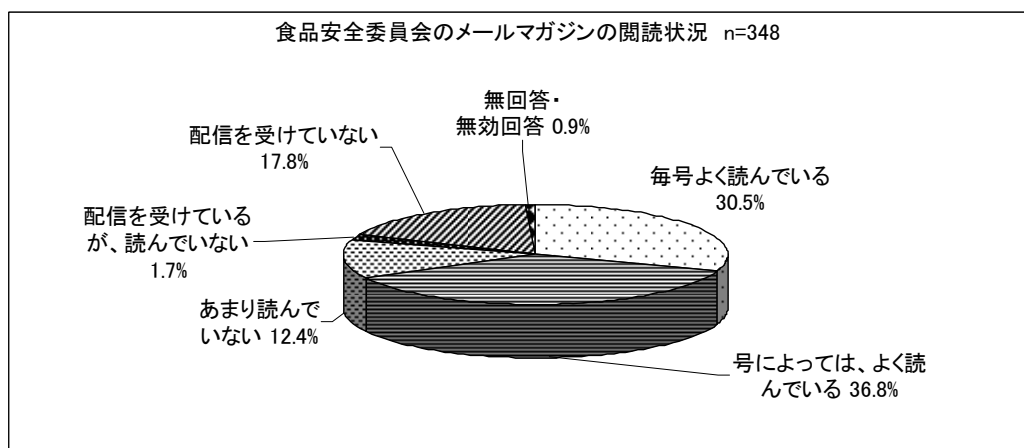
問5 あなたは、食品安全委員会のメールマガジンをお読みになっていますか。

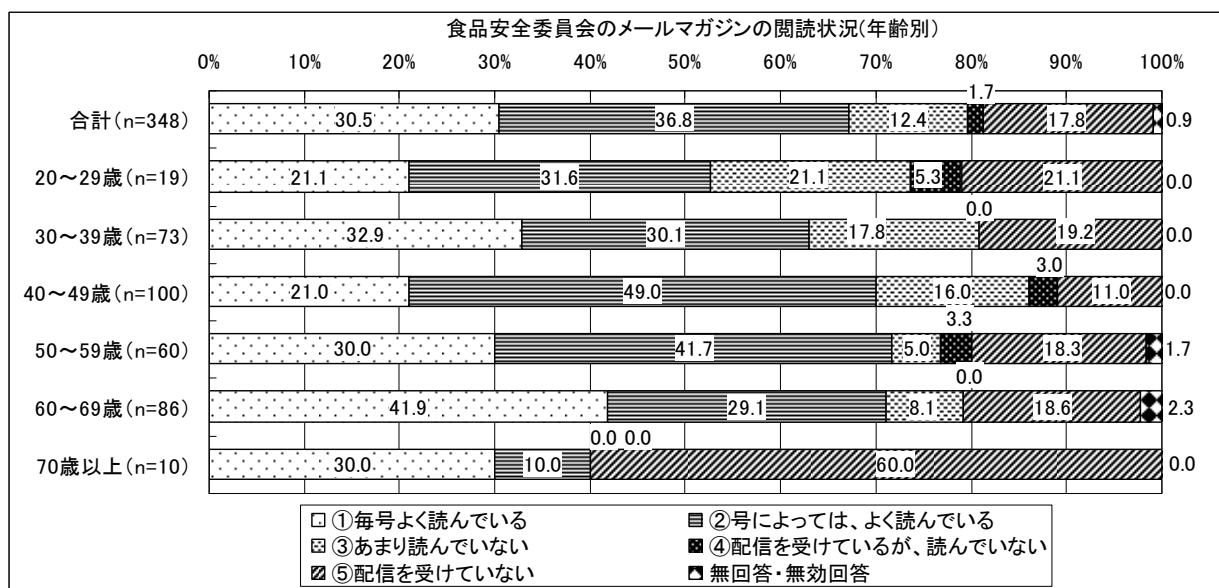
- ◆ 食品安全委員会のメールマガジンの閲読状況は、「配信を受けていない」(17.8%)という人がいるが、「号によっては、よく読んでいる」(36.8%)とする回答割合が最も多く、次いで「毎号よく読んでいる」(30.5%)、「あまり読んでいない」(12.4%)、「配信を受けているが、読んでいない」(1.7%)の順
- ◆ 男性は女性に比べて「毎号よく読んでいる」とする回答割合が高い(男性(46.8%)、女性(21.2%))
- ◆ 60～69歳は他の年代に比べて「毎号よく読んでいる」とする回答割合が高い(60～69歳(41.9%)、合計(30.5%))

食品安全委員会のメールマガジンの閲読状況は、「配信を受けていない」とする人が17.8%いるが、「号によっては、よく読んでいる」とする回答割合が最も多く36.8%で、次いで「毎号よく読んでいる」が30.5%、「あまり読んでいない」が12.4%、「配信を受けているが、読んでいない」が1.7%と続く。

男性は女性に比べて「毎号よく読んでいる」とする回答割合が高く、男性では46.8%、女性では21.2%であった。

また、60～69歳は他の年代に比べて「毎号よく読んでいる」とする回答割合が高く、回答者の合計が30.5%であったのに対し、60～69歳では41.9%であった。





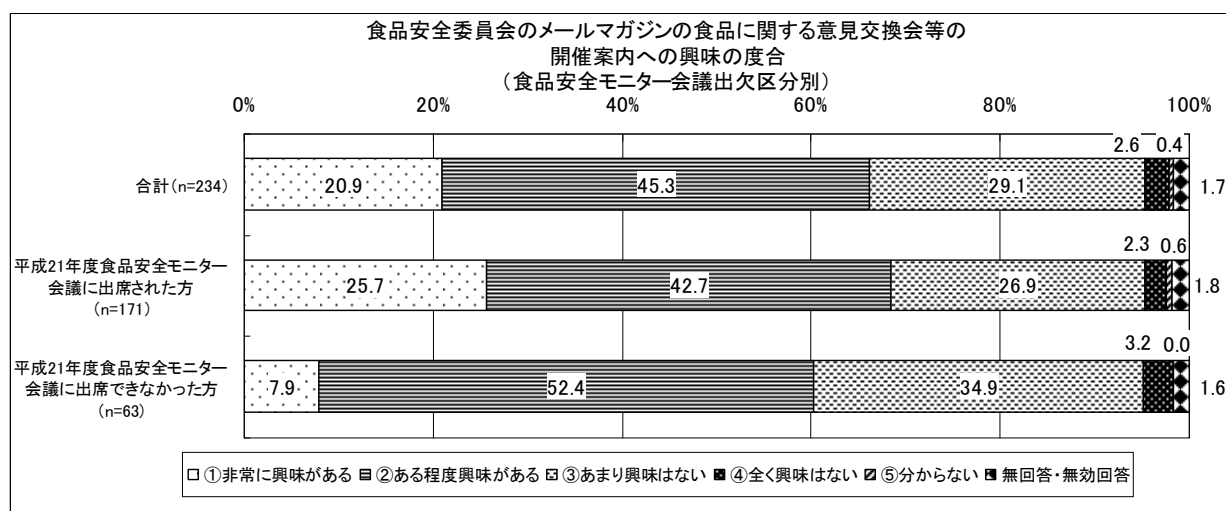
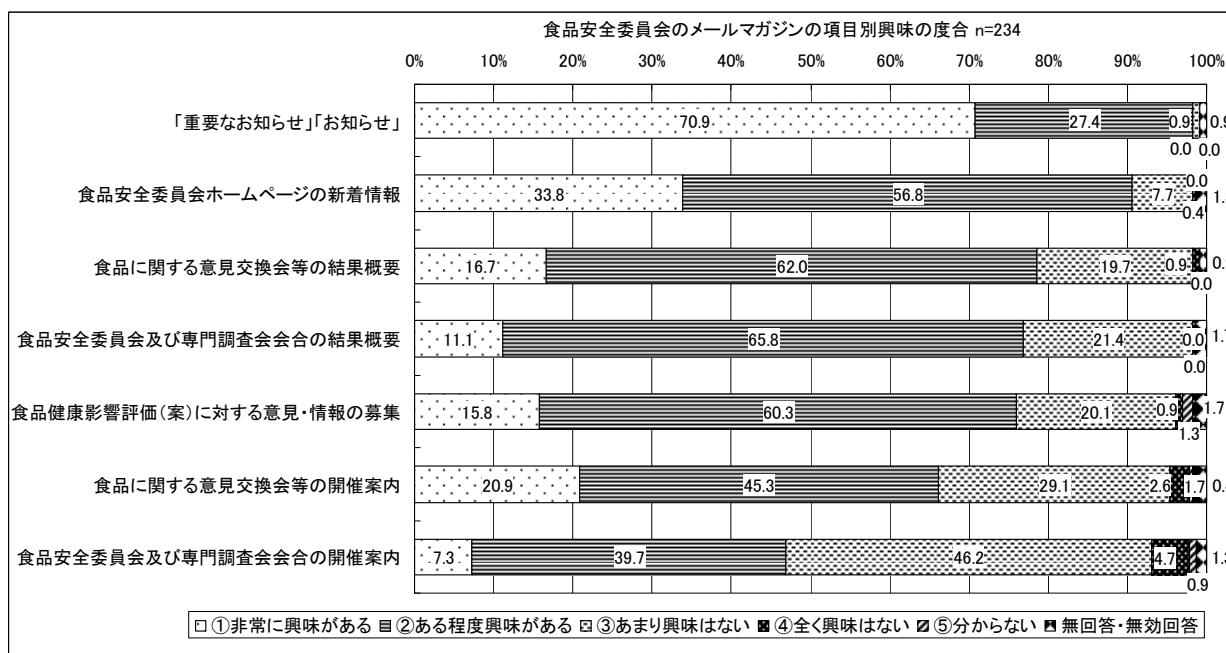
④ 食品安全委員会のメールマガジンの項目別興味の場合 (問 6)

問 6 食品安全委員会のメールマガジンでは、以下の項目に掲げる情報等を提供していますが、項目のそれぞれについて、あなたの評価を選択肢の中から1つずつ選んでください。(選択肢：非常に興味があり～全く興味はない)

- ◆ 食品安全委員会のメールマガジンで「非常に興味がある」「ある程度興味がある」とする回答割合が高い項目は、「重要なお知らせ」「お知らせ」(98.3%)、「食品安全委員会ホームページの最新情報」(90.6%)、「食品に関する意見交換会等の結果概要」(78.7%)、「食品安全委員会及び専門調査会会合の結果概要」(76.9%)、「食品健康影響評価(案)に対する意見・情報の募集」(76.1%)、「食品に関する意見交換会等の開催案内」(66.2%)、「食品安全委員会及び専門調査会会合の開催案内」(47.0%)の順
- ◆ 食品に関する意見交換会等の開催案内への興味については、食品安全モニター会議出席の方が欠席者より、「非常に興味がある」「ある程度興味がある」とする回答割合が高い(出席者(68.4%)、欠席者(60.3%))

食品安全委員会のメールマガジンで「非常に興味がある」「ある程度興味がある」とする回答割合は、「重要なお知らせ」「お知らせ」が最も高く98.3%、次いで「食品安全委員会ホームページの最新情報」が90.6%、「食品に関する意見交換会等の結果概要」が78.7%、「食品安全委員会及び専門調査会会合の結果概要」が76.9%、「食品健康影響評価(案)に対する意見・情報の募集」が76.1%、「食品に関する意見交換会等の開催案内」が66.2%で、最も低かったのは「食品安全委員会及び専門調査会会合の開催案内」の47.0%だった。

食品安全委員会のメールマガジンの項目の一つである食品に関する意見交換会等の開催案内への興味については、食品安全モニター会議出席の方が欠席者より、「非常に興味がある」「ある程度興味がある」とする回答割合が高く、出席者では68.4%、欠席者では60.3%であった。



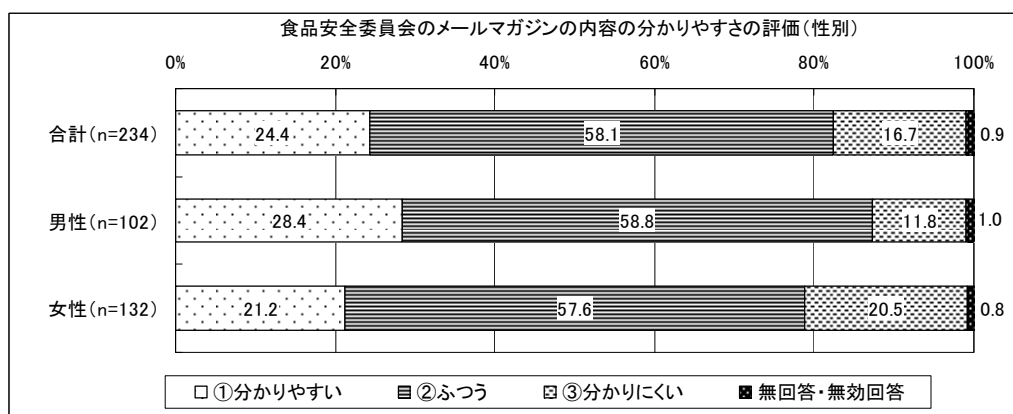
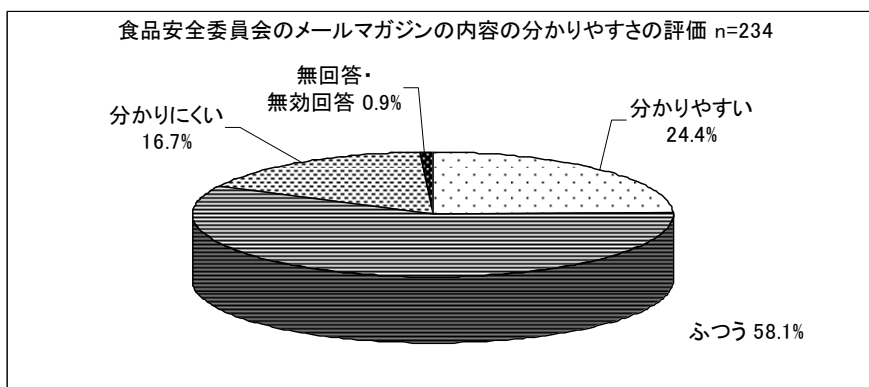
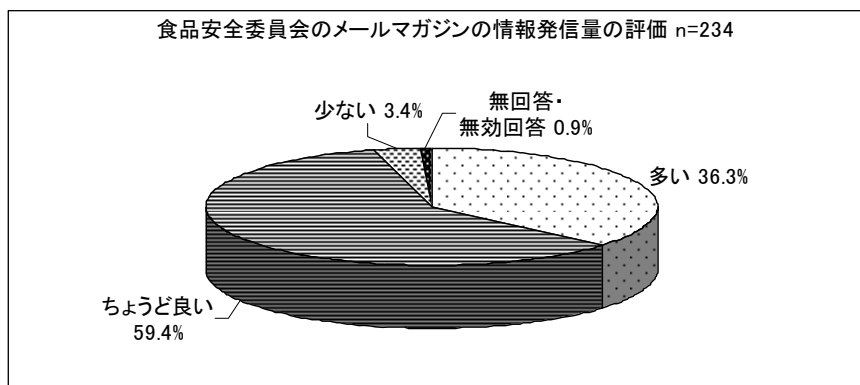
⑤食品安全委員会のメールマガジンの項目別評価 (問7)

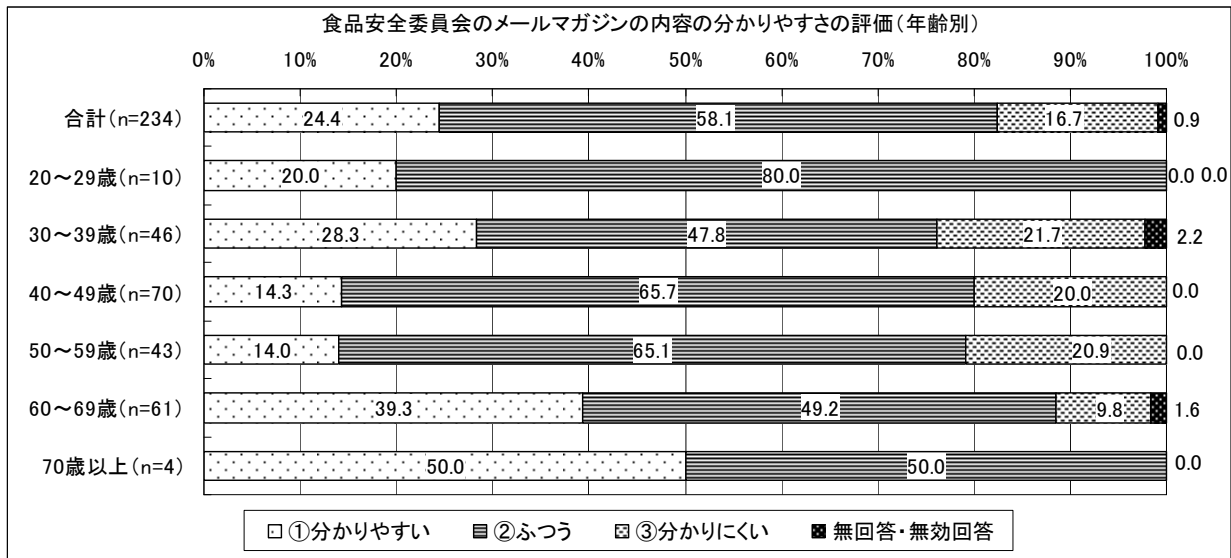
問7 食品安全委員会のメールマガジンの情報発信量と内容の分かりやすさはいかがですか。それぞれについて1つずつ選んでください。(情報発信量の選択肢：多い～少ない、内容の分かりやすさ：分かりやすい～分かりにくい)

- ◆ 食品安全委員会のメールマガジンの情報発信量についての回答割合は、「ちょうど良い」が59.4%、「多い」が36.3%、「少ない」は3.4%
- ◆ 食品安全委員会のメールマガジンの内容についての回答割合は、「ふつう」が58.1%、「分かりやすい」が24.4%、「分かりにくい」は16.7%
- ◆ 食品安全委員会のメールマガジンの内容の分かりやすさの評価で、「分かりにくい」とする回答割合は、性別では男性より女性が、年代区分別では30～59歳が高い(「分かりにくい」とする回答割合は、男性(11.8%)、女性(20.5%)、20～29歳(0.0%)、30～39歳(21.7%)、40～49歳(20.0%)、50～59歳(20.3%)、60～69歳(9.8%)、70歳以上(0.0%))

食品安全委員会のメールマガジンの情報発信量についての評価は、「ちょうど良い」が59.4%、「多い」が36.3%、「少ない」は3.4%という回答割合であった。

また、内容についての評価は、「ふつう」が58.1%、「分かりやすい」が24.4%、「分かりにくい」は16.7%という回答割合であり、「分かりにくい」とする回答割合は、性別では男性の11.8%より女性が20.5%と高く、年代区分別では20～29歳と70歳以上が0.0%、60～69歳が9.8%と低かったが、30～39歳は21.7%、40～49歳は20.0%、50～59歳は20.9%という結果であった。



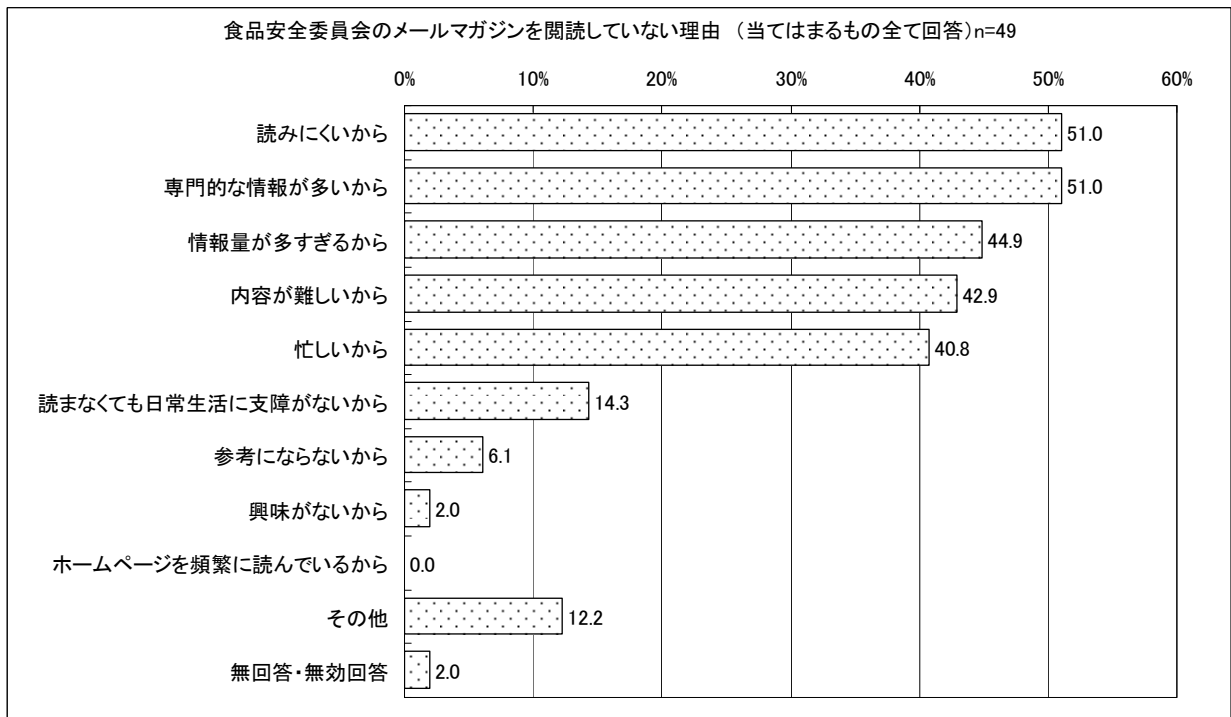


⑥ 食品安全委員会のメールマガジンを閲読していない理由(問 8)

問 8 食品安全委員会のメールマガジンを読んでいない理由は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。

- ◆ 食品安全委員会のメールマガジンの配信登録をしている人の閲読していない主な理由の回答割合は、「読みにくいから」(51.0%)、「専門的な情報が多いから」(51.0%)、「情報量が多すぎるから」(44.9%)、「内容が難しいから」(42.9%)、「忙しいから」(40.8%)

食品安全委員会のメールマガジンの配信登録をしている人の閲読していない理由の回答割合は、「読みにくいから」が51.0%、「専門的な情報が多いから」が51.0%、「情報量が多すぎるから」が44.9%、「内容が難しいから」が42.9%、「忙しいから」が40.8%であった。



問 8 : ⑩その他 (具体的に記入してください) (回答者数 6 名)

食品安全委員会メールマガジンを閲読していない理由として、パソコンを開く時間が少なくなった、日常生活において関係ないこともある、何度か見たが分かりづらい、モニター会議時のメールマガジンの改善意見が反映されていない、文書のダウンロードに時間がかかる、自分のパソコンがないなどの意見があった。

3) 平成21年度食品安全モニター会議後の情報提供について

①食品安全モニター名簿及び食品安全モニター会議講演資料(CD-R)の食品安全モニター活動への有用度合(問9)

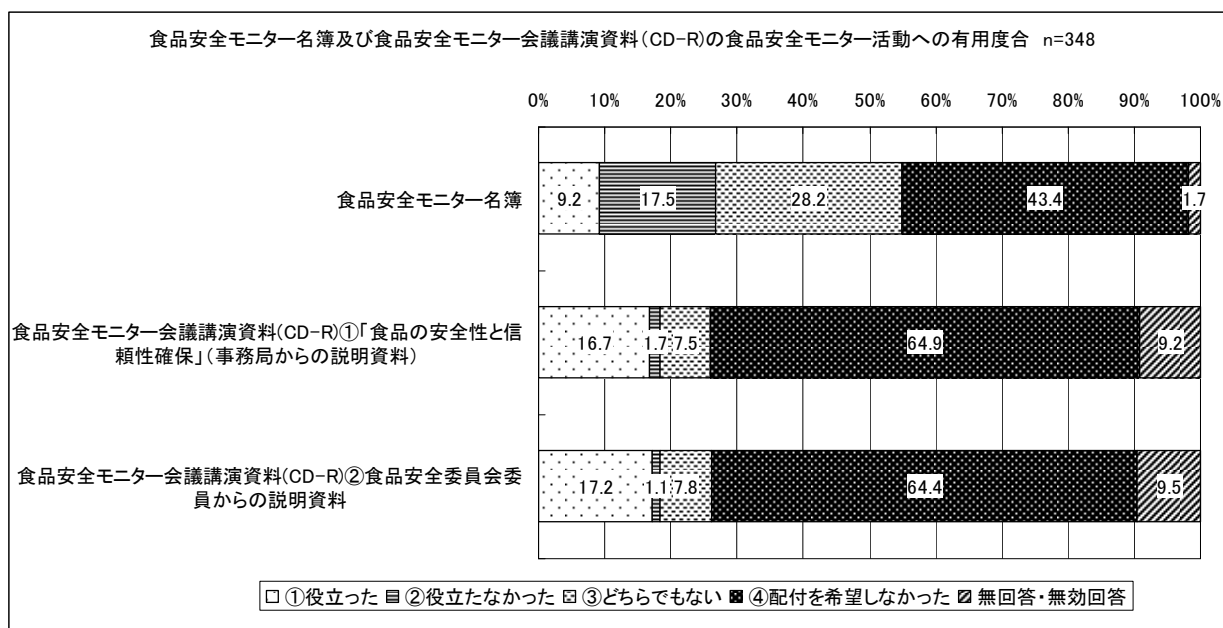
問9 今年度初めて行った食品安全モニター名簿及び食品安全モニター会議講演資料の配付について、その後の食品安全モニター活動に役立ちましたか。(選択肢:役立った、役立たなかった、どちらでもない、配信を希望しなかった)

- ◆ 食品安全モニター名簿は回答者の50%程度が配付を希望し受け取っており、「役立った」とする回答割合は回答者全体の9.2%
- ◆ 食品安全モニター会議講演資料は、『資料①「食品の安全性と信頼性確保」の事務局からの説明資料』、『資料②食品安全委員会委員からの説明資料』ともに回答者の25%程度が配付を希望し受け取っており、回答者全体のうち「役立った」とする回答割合は、資料①で16.7%、資料②で17.2%

食品安全モニター会議開催後に、食品安全モニター名簿及び食品安全モニター会議講演資料2種類の配付を希望者に行った。

食品安全モニター名簿の配付の希望者は回答者の54.9%であり、回答者全体の9.2%が「役立った」、17.5%が「役立たなかった」、28.2%が「どちらでもない」という回答割合であった。

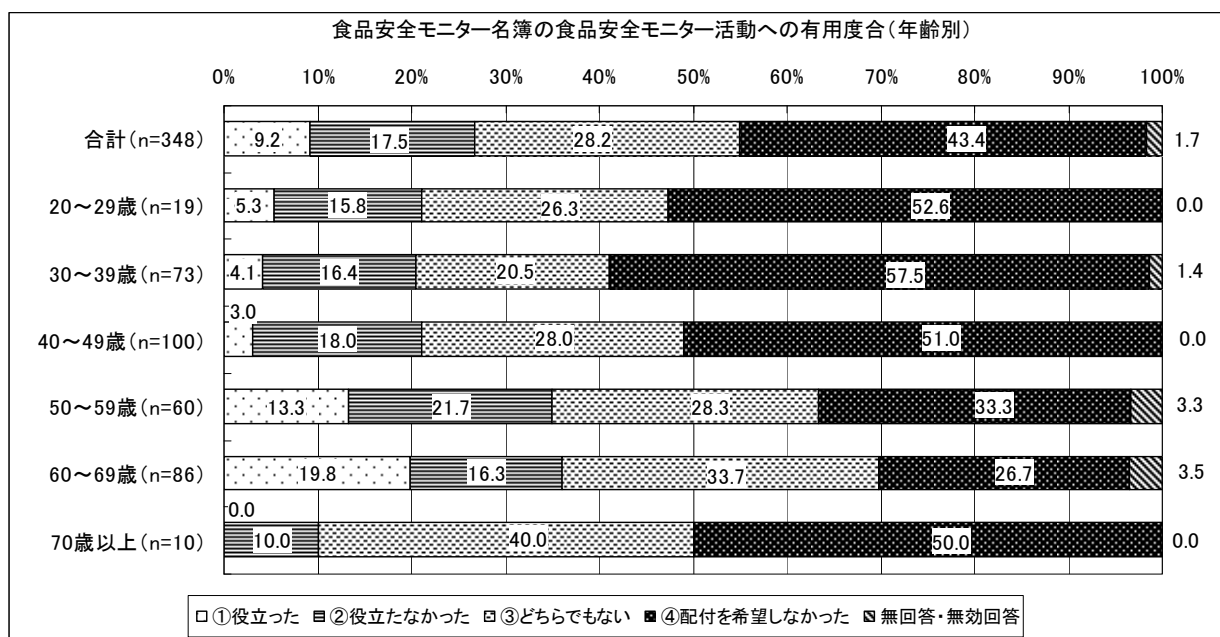
食品安全モニター会議講演資料については、資料①「食品の安全性と信頼性確保」の事務局からの説明資料の配付の希望者は回答者の25.9%であり、回答者全体の16.7%が「役立った」、1.7%が「役立たなかった」、7.5%が「どちらでもない」という結果であった。また、資料②食品安全委員会委員からの説明資料の配付の希望者は回答者の26.1%で、回答者全体の17.2%が「役立った」、1.1%が「役立たなかった」、7.8%が「どちらでもない」であった。



○食品安全モニター名簿

- ◆ 50～69 歳は、他の年代に比べて、食品安全モニター名簿の配付を希望した割合が高く、名簿が役立ったとする回答割合も高い(配付を希望したとする回答割合は、20～29 歳(47.4%)、30～39 歳(41.0%)、40～49 歳(49.0%)、50～59 歳(63.3%)、60～69 歳(71.8%)、70 歳以上(50.0%)。「役立った」とする回答割合は、20～29 歳(5.3%)、30～39 歳(4.1%)、40～49 歳(3.0%)、50～59 歳(13.3%)、60～69 歳(19.8%)、70 歳以上(0.0%))

希望者に配付した食品安全モニター名簿について、回答者の属性区分別の配付の希望及び有用度合で、回答割合が共に高い年代は 50～69 歳であり、回答者の中での配付希望者の割合は 50 歳代が 63.3%、60 歳代が 71.8%と高い結果であった。また、役立ったという回答割合は 50 歳代が 13.3%、60 歳代が 19.8%と高い結果であった。



○食品安全モニター会議講演資料①「食品の安全性と信頼性確保」(食品安全委員会事務局からの説明資料)及び食品安全モニター会議講演資料②(食品の安全委員会委員からの説明資料。内容は開催会議により異なる)

- ◆ 食品安全モニター会議講演資料2種類とも、男性は女性に比べて、配付を希望した割合が高く、役立ったとする回答割合も高い(配付を希望したとする回答割合は、男性(資料①:38.1%、資料②:36.5%)、女性(資料①:19.0%、資料②:20.3%)。「役立った」とする回答割合は、男性(資料①:25.4%、資料②:25.4%)、女性(資料①:11.7%、資料②:12.6%))
- ◆ 食品安全モニター会議講演資料2種類とも、食品関係研究職経験者は他の職務経験区分に比べて、配付を希望した割合が高く、役立ったとする回答割合も高い(配付を希望したとする回答割合は、食品関係研究職経験者(資料①:40.0%、資料②:40.0%)、食品関係業務経験者(資料①:26.1%、資料②:25.3%)、医療・教育職経験者(資料①:27.8%、資料②:31.5%)、その他消費者一般(資料①:20.7%、資料②:20.7%)。「役立った」とする回答割合は、食品関係研究職経験者(資料①:34.3%、資料②:34.3%)、食品関係業務経験者(資料①:17.4%、資料②:17.4%)、医療・教育職経験者(資料①:18.5%、資料②:

22.2%)、その他消費者一般(資料①:9.9%、資料②:9.9%)

- ◆ 食品安全モニター会議講演資料2種類とも、食品安全委員会メールマガジンを登録している人は、登録していない人に比べて食品安全モニター会議講演資料の配布を希望した割合が高く、役立ったとする回答割合も高い(配付を希望したとする回答割合は、登録している人(資料①:29.4%、資料②:29.4%)、登録していない人(資料①:10.6%、資料②:12.1%)。「役立った」とする回答割合は、登録している人(資料①:19.1%、資料②:19.5%)登録していない人(資料①:6.1%、資料②:7.6%)
- ◆ 食品安全モニター会議講演資料2種類とも、食品安全モニター会議出席者は、欠席者に比べて、食品安全モニター会議講演資料の配付を希望した割合が高く、役立ったとする回答割合も高い(配付を希望したとする回答割合は、出席者(資料①:31.7%、資料②:31.7%)、欠席者(資料①:10.4%、資料②:11.5%)。「役立った」とする回答割合は、出席者(資料①:21.4%、資料②:22.2%)、欠席者(資料①:4.2%、資料②:4.2%)

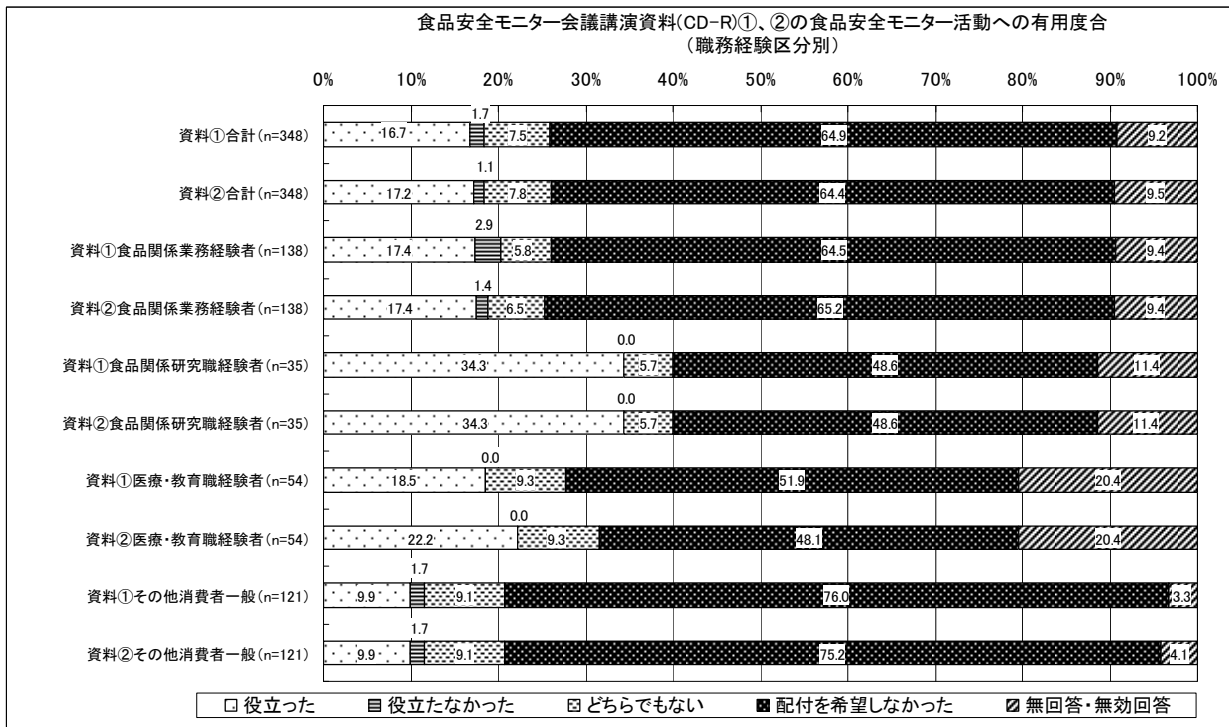
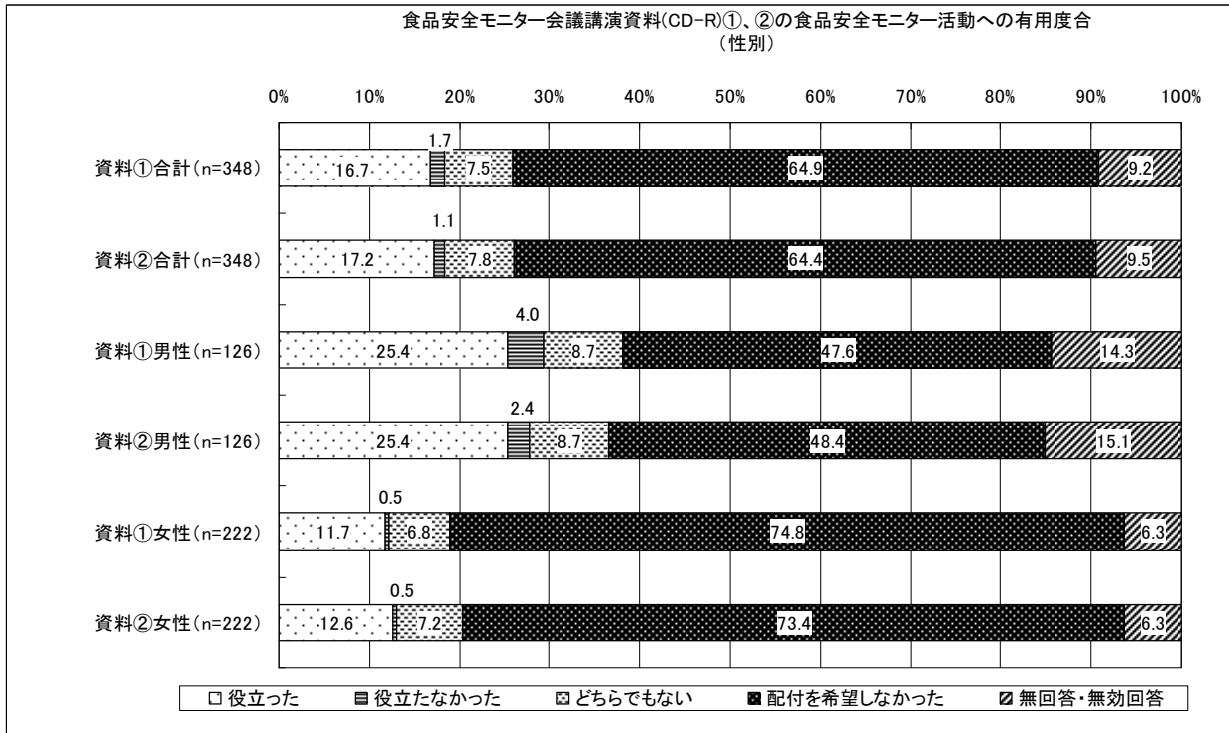
希望者に配付した食品安全モニター会議講演資料①「食品の安全性と信頼性確保」(食品安全委員会事務局からの説明資料)及び食品安全モニター会議講演資料②(食品の安全委員会委員からの説明資料。内容は開催会議により異なる)について、回答者の属性区分別の配付の希望と有用度合を調査したところ、2種類ともに次の結果であった。

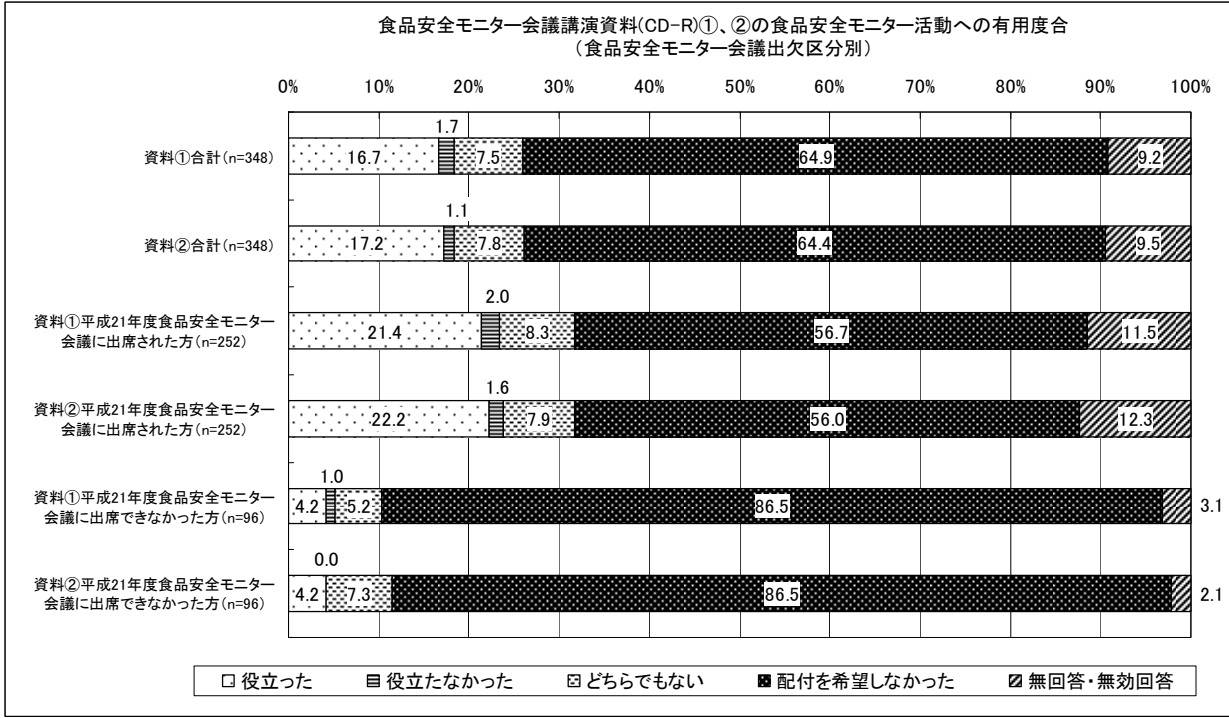
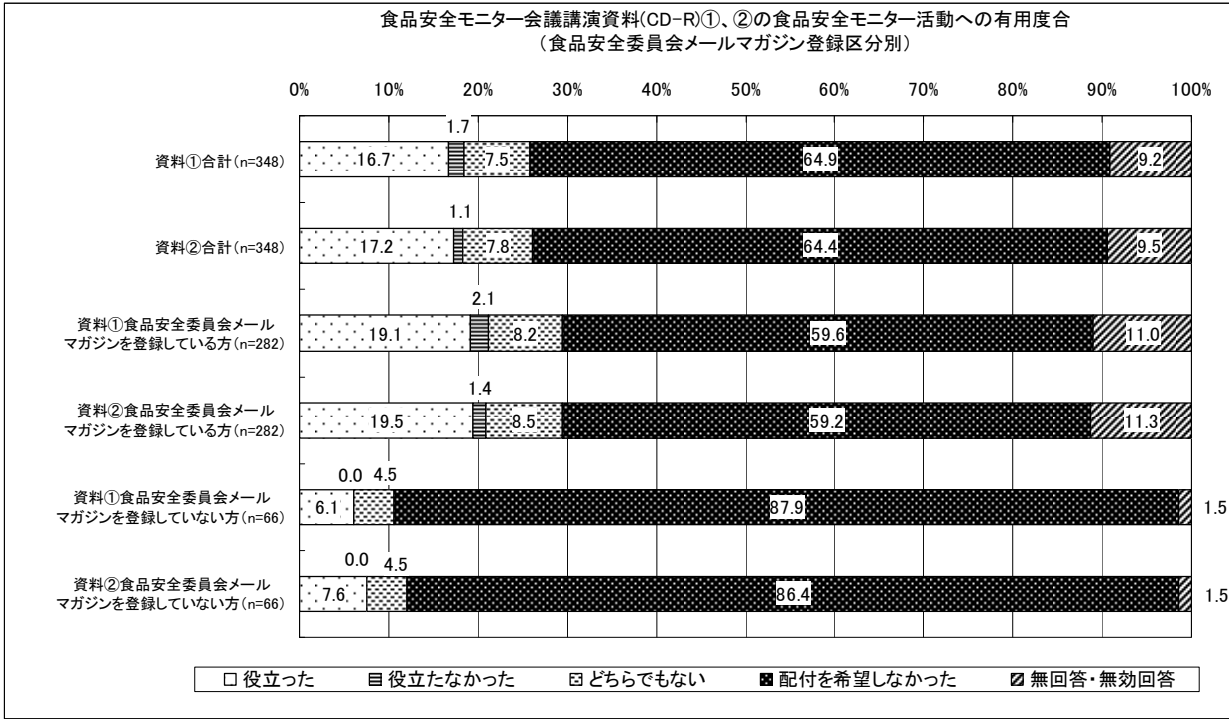
性別では、男性は女性に比べて、配付を希望した割合が高かった。男性の配付希望は資料①で回答者の38.1%、資料②で36.5%であるのに対し、女性は資料①で19.0%、資料②で20.3%であった。また、役立ったとする回答割合も、男性は女性に比べて高く、男性の回答割合は資料①、②ともに25.4%で、女性では資料①で11.7%、資料②で12.6%であった。

職務経験区分別では、食品関係研究職経験者は他の職務経験区分に比べて、配付を希望した割合が高く、役立ったとする回答割合も高かった。配付を希望したとする回答割合は、食品関係研究職経験者が資料①、②ともに40.0%であったのに対し、食品関係業務経験者では資料①は26.1%、資料②は25.3%、医療・教育職経験者では資料①で27.8%、資料②で31.5%、その他消費者一般では資料①、②ともに19.7%であった。役立ったとする回答割合は、食品関係研究職経験者が資料①、②ともに34.3%であったが、食品関係業務経験者では資料①、②ともに17.4%、医療・教育職経験者では資料①で18.5%、資料②で22.2%、その他消費者一般では、資料①、②ともに9.9%であった。

食品安全委員会メールマガジンの登録区分別では、登録していない人に比べて食品安全モニター会議講演資料の配布を希望した割合が高く、役立ったとする回答割合も高い結果だった。配付を希望したとする回答割合は、登録している人は資料①、②ともに29.4%、登録していない人は資料①で10.6%、資料②で12.1%であった。役立ったとする回答割合は、登録している人が資料①で19.1%、資料②で19.5%であったのに対し、登録していない人は資料①で6.1%、資料②で7.6%であった。

食品安全モニター会議への出欠による違いでは、出席者の方が出席者は、欠席者に比べて、食品安全モニター会議講演資料の配付を希望した割合が高く、役立ったとする回答割合も高かった。配付を希望したとする回答割合は、出席者では資料①、②ともに31.7%、欠席者では資料①は10.4%、資料②は11.5%であった。役立ったとする回答割合は、出席者が資料①で21.4%、資料②で22.2%、欠席者では資料①、②ともに4.2%であった。





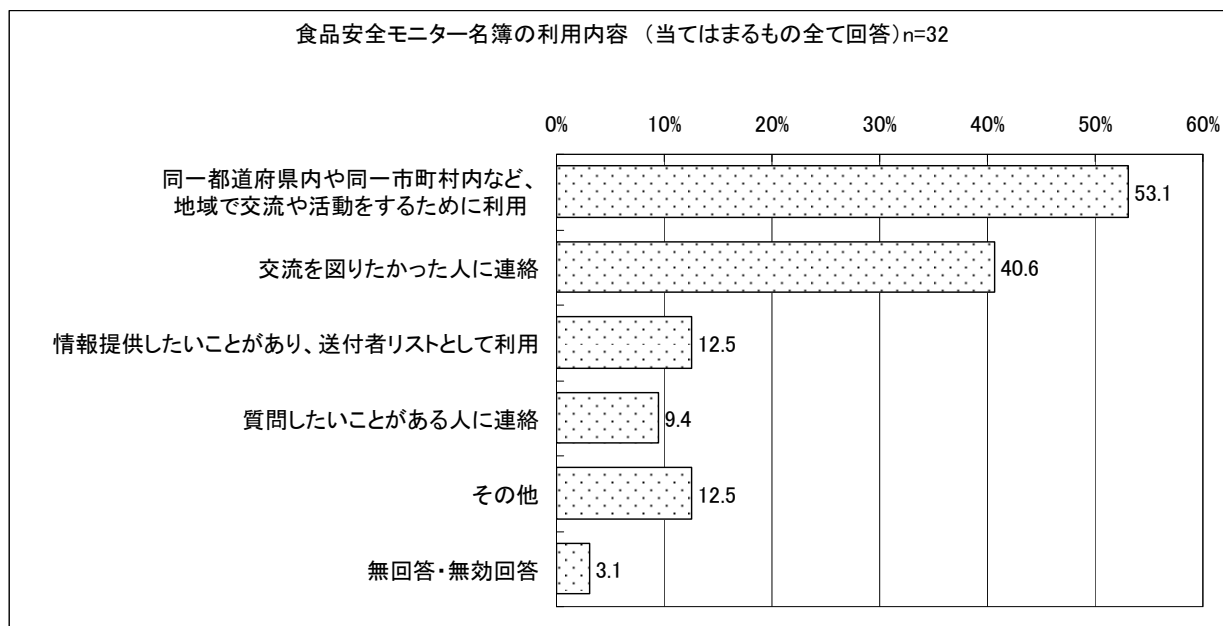
②食品安全モニター名簿及び食品安全モニター会議講演資料（CD-R）の利用内容（問10）

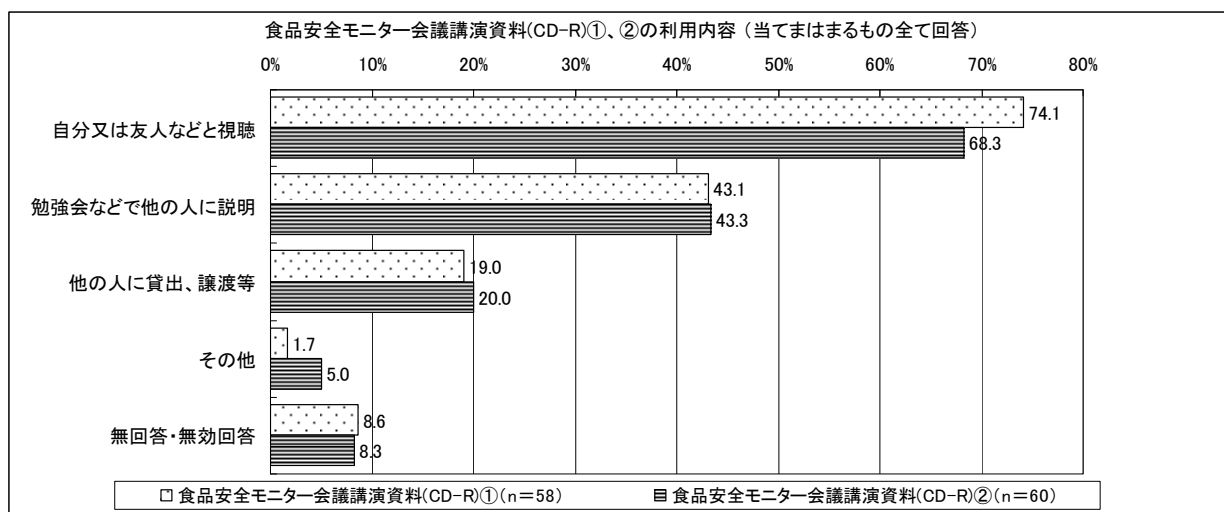
問10 名簿と講演資料それぞれについて、当てはまるものを全て選んでください。また、利用した事例がありましたら、御自由にお書きください。

- ◆ 食品安全モニター名簿の利用内容は、「同一都道府県内や同一市町村内など、地域で交流や活動をするために利用」(53.1%)、「交流を図りたかった人に連絡」(40.6%)、「情報提供したいことがあり、送付者リストとして利用」(12.5%)の順
- ◆ 食品安全モニター会議講演資料①「食品の安全性と信頼性の確保」事務局からの説明資料の利用内容は、「自分又は友人などと視聴」(74.1%)、「勉強会などで他の人に説明」(43.1%)、「他の人に貸出、譲渡等」(19.0%)の順
- ◆ 食品安全モニター会議講演資料②食品安全委員会委員からの説明資料の利用内容は、「自分又は友人などと視聴」(68.3%)、「勉強会などで他の人に説明」(43.3%)、「他の人に貸出、譲渡等」(20.0%)の順

希望者に配付した食品安全モニター名簿の利用内容の回答割合は、「同一都道府県内や同一市町村内など、地域で交流や活動をするために利用」が53.1%で最も高く、次いで「交流を図りたかった人に連絡」が40.6%、「情報提供したいことがあり、送付者リストとして利用」が12.5%、「質問したいことがある人に連絡」が8.4%であった。

同様に希望者に配付した食品安全モニター会議講演資料①「食品の安全性と信頼性確保」（食品安全委員会事務局からの説明資料）及び食品安全モニター会議講演資料②（食品の安全委員会委員からの説明資料。内容は開催会議により異なる）の利用内容の回答割合の高い順は、資料①、②共に同じで、「自分又は友人などと視聴」は資料①で74.1%、資料②で68.3%、「勉強会などで他の人に説明」は資料①で43.1%、資料②で43.3%、「他の人に貸出、譲渡等」は資料①で19.0%、資料②で20.0%であった。





○その他

問 1 0 【名簿】：⑤その他（具体的に記入してください）（回答者数 4 名）

食品安全モニター名簿の利用内容として、モニター全体像の把握や質問・情報提供への利用などの意見があった。

問 1 0 【講演資料①「食品の安全性と信頼性確保」事務局からの説明資料】：⑤その他（具体的に記入してください）（回答者数 0 名）

回答者はその他を選択したが、回答欄に記載なし。

問 1 0 【講演資料②（食品安全委員会委員からの説明資料）】：⑤その他（具体的に記入してください）（回答者数 2 名）

食品安全モニター会議講演資料の利用内容として、民間の食の安全に関する集まりで発表などの意見があった。

○利用事例

問 1 0 【名簿】（回答者数 10 名）

食品安全モニター名簿の利用事例として、同地域のモニターへの連絡に利用したとする意見が複数あった。その他の意見として、高齢者学級開催への利用などの意見があった。

問 1 0 【講演資料①「食品の安全性と信頼性確保」事務局からの説明資料】（回答者数 27 名）

食品安全モニター会議講演資料①の利用事例として、社内の研修や会議で利用したとする意見が最も多く、授業や講義の教材として利用、講演会に利用、家族や友人と視聴などの意見も複数あった。その他の意見としては、ボランティア活動に利用、関心のある人に貸し出したなどがあった。

問 1 0 【講演資料②（食品安全委員会委員からの説明資料）】（回答者数 23 名）

食品安全モニター会議講演資料②の利用事例として、社内の研修や会議で利用したとする意

見が最も多く、授業や講義の教材として利用、講演会に利用、家族や友人と視聴などの意見も複数あった。その他の意見としては、ボランティア活動に利用、関心のある人に貸し出したなどがあった。

③食品安全モニター名簿、食品安全モニター会議講演資料へのご意見、ご要望（問11）

問11 食品安全モニター名簿、食品安全モニター会議講演資料について、他に御意見などがありましたら、御自由にお書きください。

（回答者数 93 名）

「食品安全モニター名簿」

○良かったこと、主な利用事例

連絡を取りたい方に連絡を取ることができて良いとする意見が多く、モニター間のコミュニケーションのために利用するという意見が多かった。

○改良点、次年度以降の要望点

モニター名簿の活用方法が分からないので具体的な活用方法を提示してもらいたい、モニター名簿に自己PRや職業、情報交換の意思等の情報を載せて欲しいとする要望が多く見られた。その他、モニター名簿ではなく、WEB上でモニター同士がコミュニケーションをとることができるようにしてほしい、個人情報なので慎重に取り扱ってほしいとの要望があった。

「食品安全モニター会議講演資料」

○良かったこと、主な利用事例

授業で活用したという意見、講演で活用したという意見があった。

○改良点、次年度以降の要望点

講演資料は食品安全委員会ホームページからダウンロードできるようにしてほしいなどの意見があった。

4) 新型インフルエンザに関する情報提供について

①「新型インフルエンザに関するQ&A」の「理解のしやすさ」の評価（問 12.1）

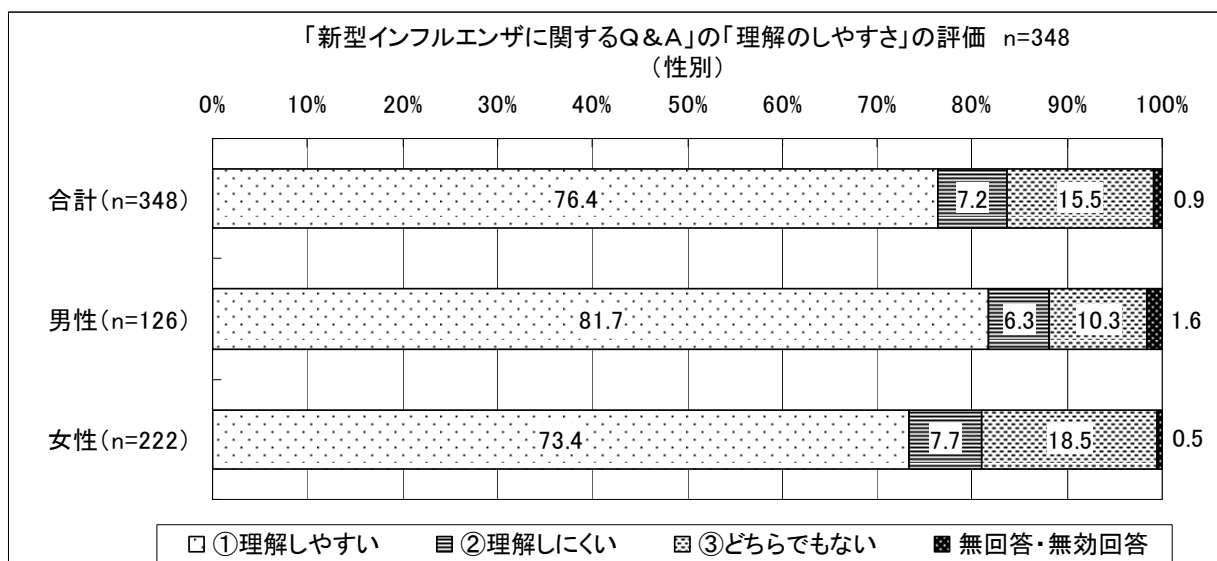
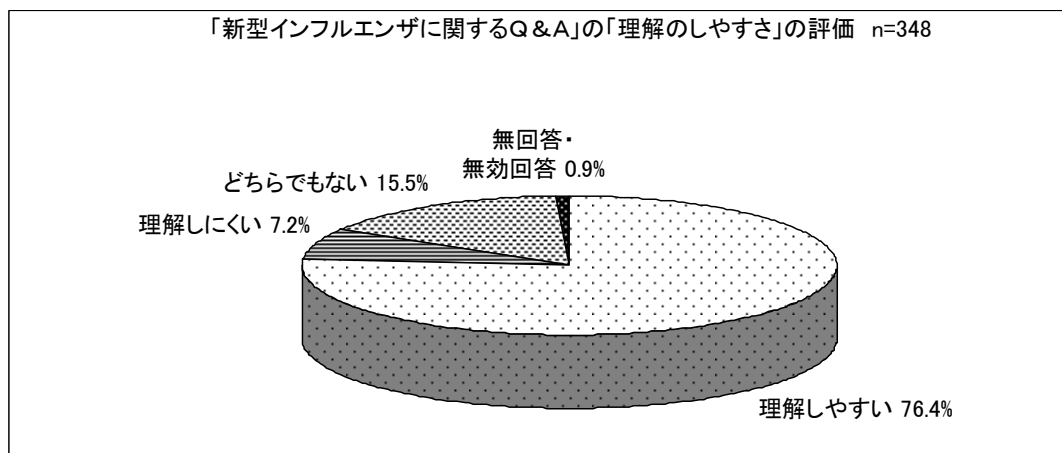
問 12.1 「新型インフルエンザに関するQ&A（「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問から）」に対する評価をお聞かせください。当てはまるものを1つ選んでください。（選択肢：理解しやすい、理解しにくい、どちらでもない）

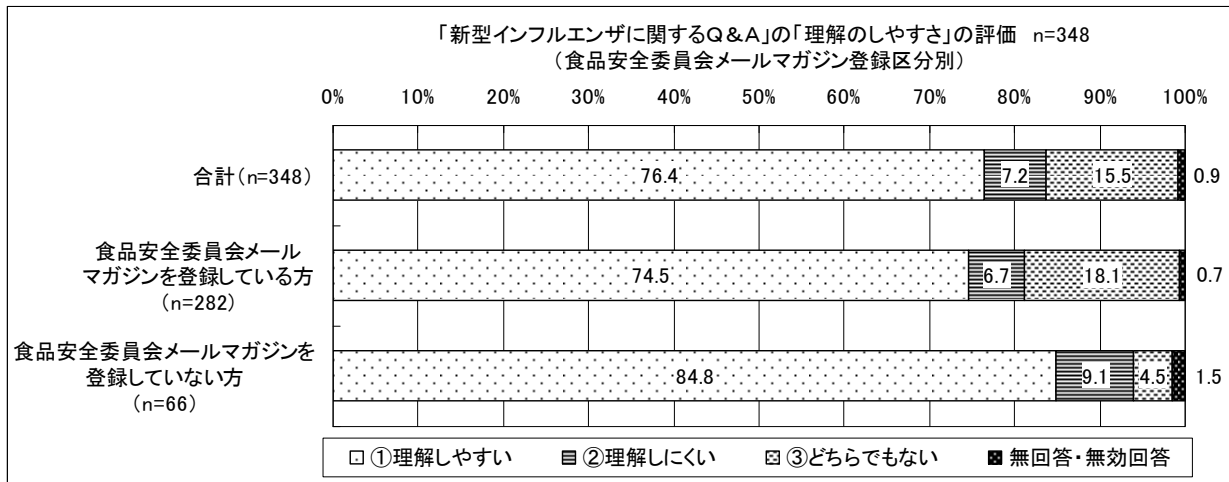
◆「新型インフルエンザに関するQ&A」について、「理解しやすい」とする回答割合は76.4%、「どちらでもない」とする回答割合は15.5%、「理解しにくい」とする回答割合は7.2%

◆「新型インフルエンザに関するQ&A」について、「理解しやすい」とする回答割合は、性別では男性、食品安全委員会メールマガジンの登録区分別では登録していない人の方が高い

「新型インフルエンザに関するQ&A」の理解のしやすさについての回答割合は、「理解しやすい」が76.4%、「どちらでもない」は15.5%、「理解しにくい」は7.2%であった。

性別では、「理解しやすい」とする回答割合は、女性の73.4%に対し男性は81.7%で、男性の方が高かった。食品安全委員会メールマガジンの登録区分別では、登録している人の74.5%に対し、登録していない人が84.8%で、登録していない人の方が回答割合は高かった。



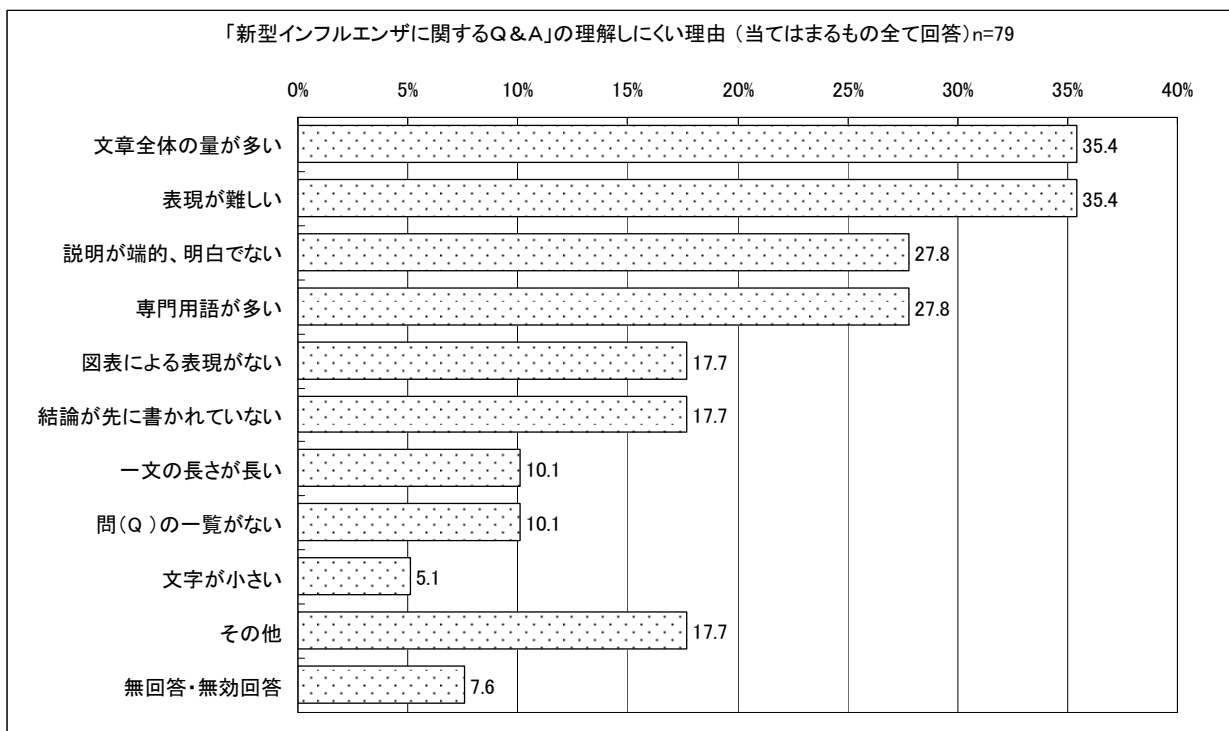


② 「新型インフルエンザに関するQ&A」の理解しにくい理由 (問 12. 2)

問 1 2. 2 「②理解しにくい」又は「③どちらでもない」を選んだ方は、理解しにくい理由についても、当てはまるものを全て選んでください。

- ◆ 「新型インフルエンザに関するQ&A」の理解しにくい理由は、「文章全体の量が多い」(35.4%)、「表現が難しい」(35.4%)、「説明が端的、明白でない」(27.8%)、「専門用語が多い」(27.8%)の順

「新型インフルエンザに関するQ&A」の理解しにくい理由で最も回答割合が高かったものは、「文章全体の量が多い」と「表現が難しい」であり、それぞれ35.4%であった。続いて「説明が端的、明白でない」と「専門用語が多い」がそれぞれ27.8%、「図表による表現がない」と「結論が先に書かれていない」がそれぞれ17.7%、「一文の長さが長い」と「文字が小さい」がそれぞれ10.1%であった。



問1 2.2 : ⑩その他（具体的に記入してください）（回答者数 13 名）

「新型インフルエンザに関する Q&A」の理解しにくい理由として、読む立場に立った表現の要望、回答にメリハリがない、安全であることに対してもっと説得力のある根拠での説明が必要、文章中に（ ）があるのは読みづらい等の意見もあった。

※これ以降は、ホームページが閲覧可能な環境の人のみを対象とした設問

5) 食品安全委員会ホームページでの新型インフルエンザに関する情報発信について

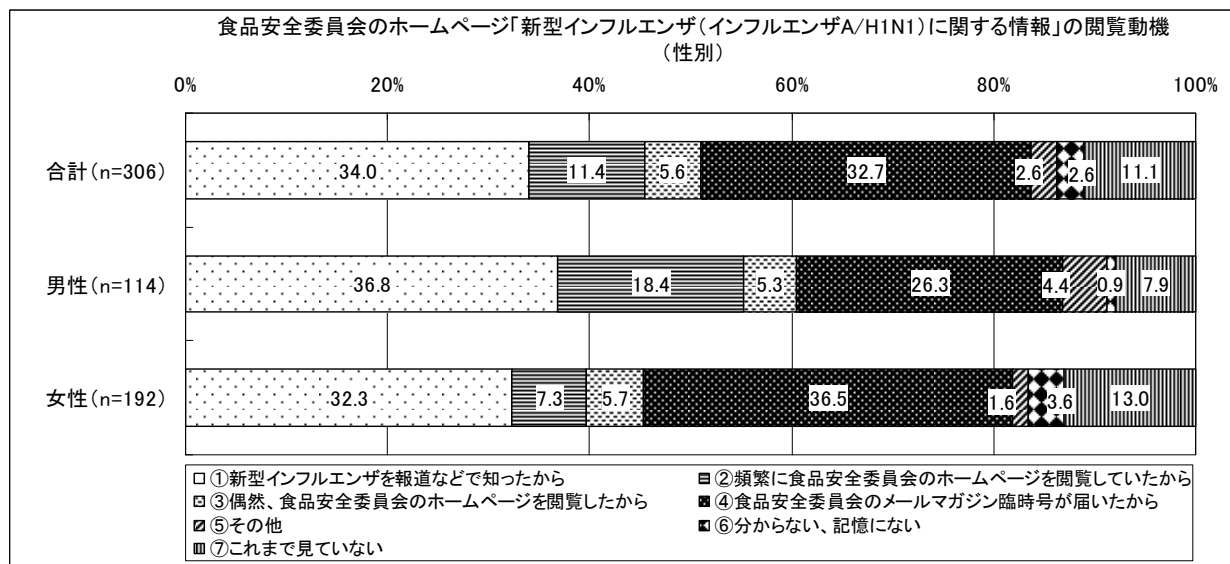
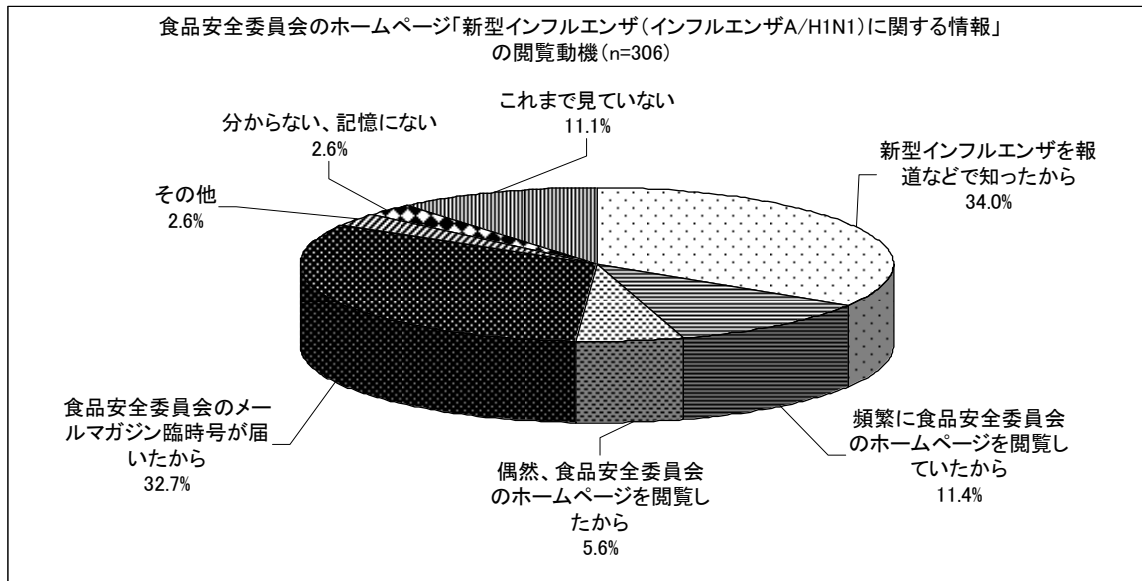
①食品安全委員会のホームページ「新型インフルエンザ（インフルエンザA/H1N1）に関する情報」の閲覧動機（問13）

問13 「新型インフルエンザ（インフルエンザA/H1N1）に関する情報」を見たことがありますか。見たことがある場合は、最初に見たきっかけは何ですか。1つ選んでください。

- ◆ 「新型インフルエンザ（インフルエンザA/H1N1）に関する情報」の閲覧動機として、「新型インフルエンザを報道などで知ったから」（34.0%）とする回答割合が最も高く、次いで、「食品安全委員会のメールマガジンの臨時号が届いたから」（32.7%）、「頻繁に食品安全委員会のホームページを閲覧していたから」（11.4%）の順
- ◆ 「新型インフルエンザ（インフルエンザA/H1N1）に関する情報」の閲覧動機の回答割合が高い順序は性別で異なり、男性は「新型インフルエンザを報道などで知ったから」（36.8%）、「食品安全委員会のメールマガジンの臨時号が届いたから」（26.3%）、「頻繁に食品安全委員会のホームページを閲覧していたから」（18.4%）、女性は「食品安全委員会のメールマガジンの臨時号が届いたから」（36.5%）、「新型インフルエンザを報道などで知ったから」（32.3%）の順

「新型インフルエンザ（インフルエンザA/H1N1）に関する情報」の閲覧動機として、最も回答割合が高かったものは「新型インフルエンザを報道などで知ったから」であり34.0%で、次いで「食品安全委員会のメールマガジンの臨時号が届いたから」が32.7%、「頻繁に食品安全委員会のホームページを閲覧していたから」が11.4%の順であった。

また、閲覧動機は性別により異なり、最も回答割合が高いものは、男性では「新型インフルエンザを報道などで知ったから」で36.8%であったが、女性では「食品安全委員会のメールマガジンの臨時号が届いたから」が36.5%であった。二番目以降は、男性は「食品安全委員会のメールマガジンの臨時号が届いたから」で26.3%、「頻繁に食品安全委員会のホームページを閲覧していたから」が18.4%であったが、女性の場合は「食品安全委員会のメールマガジンの臨時号が届いたから」が36.5%、「新型インフルエンザを報道などで知ったから」が32.3%の順であった。

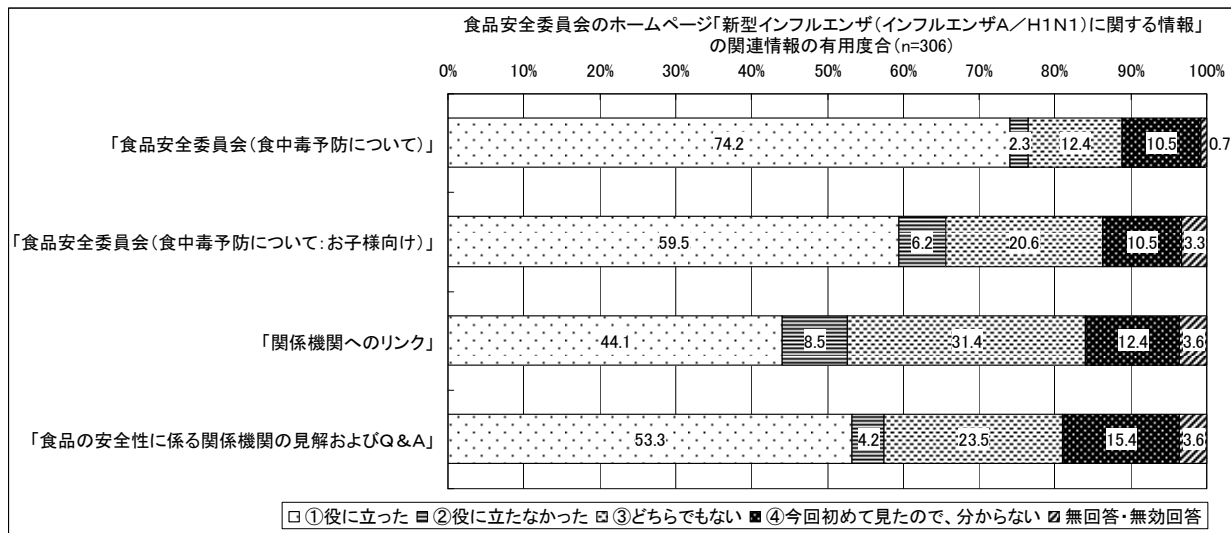


② 食品安全委員会のホームページ「新型インフルエンザ（インフルエンザA/H1N1）に関する情報」の関連情報の有用度合（問14）

問14 「新型インフルエンザ（インフルエンザA/H1N1）に関する情報」に関連情報として掲載している「食品安全委員会（食中毒予防について）」、「食品安全委員会（食中毒予防について：お子様向け）」、「関係機関へのリンク」、「食品の安全性に係る関係機関の見解およびQ&A」について、それぞれについて1つずつ選んでください。（選択肢：役に立った、役に立たなかった、どちらでもない、今回初めて見たので、わからない）

- ◆ 「新型インフルエンザ（インフルエンザA/H1N1）に関する情報」の関連情報について「役に立った」とする回答割合が高い項目は、「食品安全委員会（食中毒予防について）」（74.2%）、「食品安全委員会（食中毒予防について：お子様向け）」（59.5%）、「食品安全に係る関係機関の見解およびQ&A」（53.3%）の順

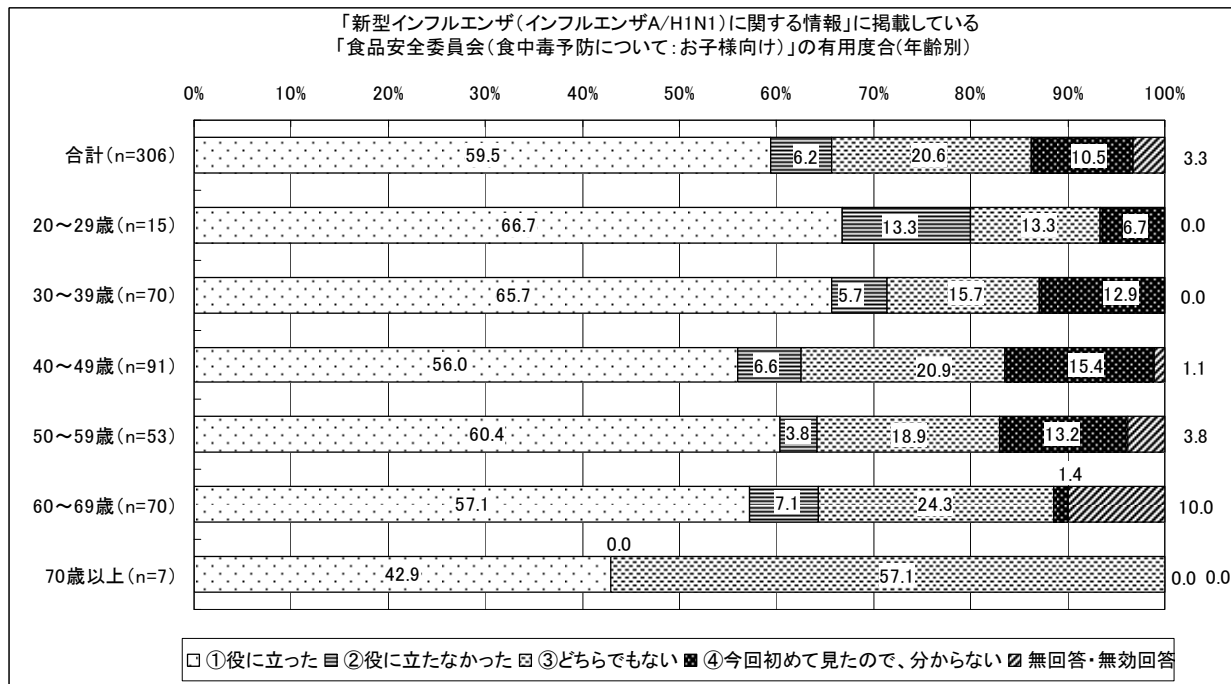
新型インフルエンザ（インフルエンザA/H1N1）に関する情報」の関連情報として、「役に立った」とする回答割合が高い順では、「食品安全委員会（食中毒予防について）」が74.2%、「食品安全委員会（食中毒予防について：お子様向け）」が59.5%、「食品安全に係る関係機関の見解およびQ&A」が53.3%であった。



○食品安全委員会（食中毒予防について：お子様向け）

◆ 「食品安全委員会（食中毒予防について：お子様向け）」は、年齢別では20～39歳が「役に立った」とする回答割合が高い

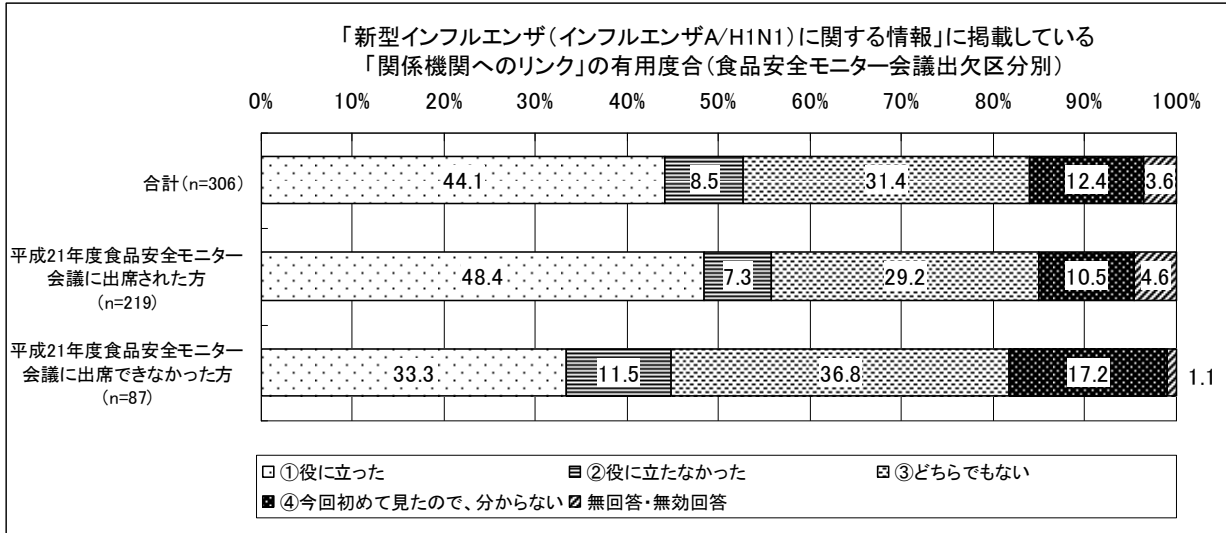
「食品安全委員会（食中毒予防について：お子様向け）」の「役に立った」とする回答割合が高い年齢は20～29歳と30～39歳であり、それぞれ66.7%、65.7%であった。他の年齢別の結果は、40～49歳で56.0%、50～59歳で60.4%、60～69歳で57.1%、70歳以上で42.9%であった。



○関係機関へのリンク

◆ 関係機関へのリンクは、食品安全モニター会議出欠区分では出席者の方が、「役に立った」とする回答割合が高い

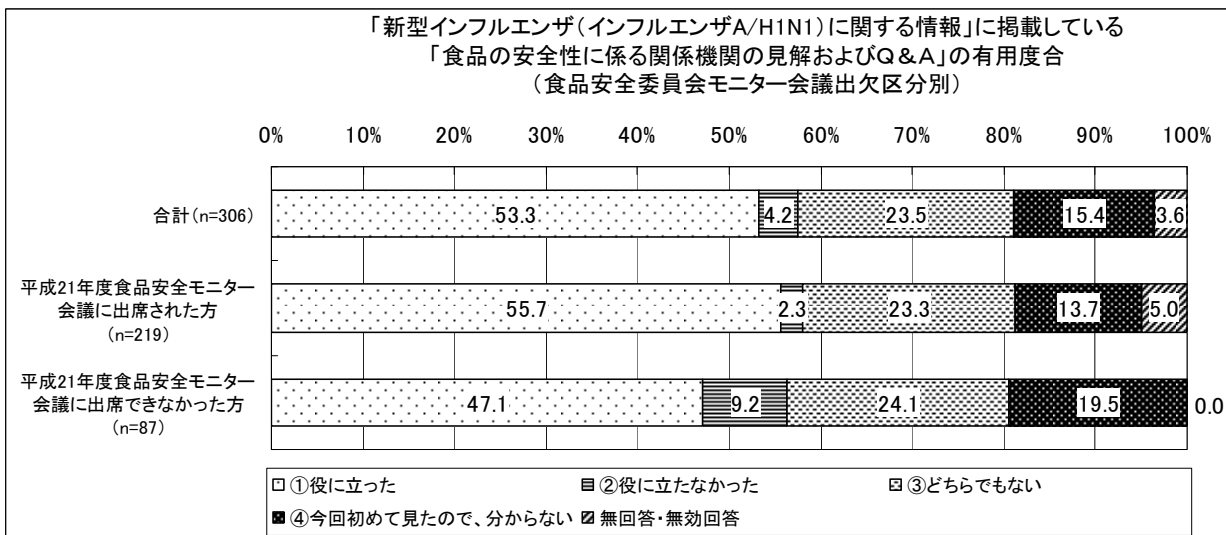
関係機関へのリンクが役だったとする回答割合は、食品安全モニター会議出欠区分では出席者の方が高く 48.4%であったのに対し、欠席者は 33.3%であった。



○食品の安全性に係る関係機関の見解及び Q&A

◆ 食品の安全性に係る関係機関の見解及び Q&A は、食品安全モニター会議出欠区分では出席者の方が、「役に立った」とする回答割合が高い

食品の安全性に係る関係機関の見解及び Q&A においては、食品安全モニター会議出欠区分では出席者は 55.7%であり、欠席者の 47.1%より高かった。



その他（問 15）

問 15 食品安全委員会のホームページ・メールマガジンや情報発信について、他に御意見などがありましたら、御自由にお書き下さい。

「ホームページ・メールマガジン」（回答者数 135 名）

ホームページ

○良い点・主な利用事例

シンプルな構成で必要な情報を探しやすく良いとする意見や、ホームページを情報収集や業務に利用しているとする意見が多く見られた。

○主な改善希望点・要望

見やすさや読みやすさに欠けるとする意見が多く、イラストや動画などの一目で見て分かりやすいコンテンツを掲載してほしいなどの要望や、文字数を少なくしてほしいもしくは文字を大きくして欲しいなどの要望があった。その他、専門的な語句や表現が多いため、簡単な説明を入れて欲しいなどの要望や、他省庁のホームページと内容が重複している等の意見も複数見られた。

メールマガジン

○良い点・主な利用事例

重要な情報が定期的に配信されるので良いとする意見が多く、近隣の意見交換会などでメールマガジンの情報を利用しているとする意見があった。

○主な改善希望点・要望

文字数が多い、内容が専門的過ぎるとする意見が多く、メールマガジンの内容を簡潔にしてほしいとする要望が多く見られた。その他、メールマガジンの内容に変化がないとする意見が複数あった。

「情報発信」（回答者数 75 名）

○良い点・主な利用事例

タイムリーに情報発信が行われているので良いとする意見が多く、その他、内容が専門的であって良いとする意見などがあった。

○主な改善希望点・要望

見やすさ、読みやすさに欠ける、文字数が多い、内容が専門的過ぎるとする意見が多く、その他、時事に応じた情報を発信して欲しいとの要望があった。

分類整理表

1) 食品安全委員会からの情報発信について

① 食品安全委員会からの情報で重要と考えているもの（問1）

問1 あなたがよく利用される食品安全委員会から発信された情報のうち、情報源として重要と考えているものはどれですか。

(回答者数=6人)

職務経歴	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	男性	30～39歳	各公共事務局様への問合せ確認
	女性	50～59歳	インターネットなどで疑問に思い調べたりしている時、その部分が食品安全委員会で以前解決されていたりする
食品関係研 究職経験者	男性	50～59歳	新聞等で食品安全委員会の判断として公表された記事
医療・教育職 経験者	男性	70歳以上	リスクコミュニケーター養成講座
その他 消費者一般	女性	30～39歳	新聞記事
		40～49歳	委員会の先生による地域で行なわれる食品安全のシンポジウム等や講演会

②食品安全委員会からの情報の活用（問2）

問2 あなたは、食品安全委員会からの情報をどのように活用していますか。

(回答者数=22人)

職務経験	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	男性	30～39歳	各公共事務局様への問合せ確認
		50～59歳	協会所属会社の品質管理マネージャー、所属長にメールで情報提供している
			取引先への衛生指導の社員研修等に活用、依頼のある大学における講義等にて活用
		60～69歳	職場関連リスク研修会にて活用・生産者、消費者を対象とした研修会にて活用
	女性	30～39歳	かつて勤務していた職場、並びに関連食品企業先
		50～59歳	調理師学校の授業で(教材として)
食品関係研 究職経験者	男性	30～39歳	仕事上で活用している
		50～59歳	インターネットなどで疑問に思い調べたりしている時、その部分が食品安全委員会で以前解決されていたりする
	女性	60～69歳	現在、短大の教員なので、学生達や地域の活動においてアナウンスしている
		50～59歳	授業中に話題にして学生に情報提供している
医療・教育職 経験者	男性	60～69歳	自社顧客への情報提供
		60～69歳	教材的な情報として
	女性	60～69歳	季刊誌『食品安全』を市図書館、地域公民館へ寄贈。市民・住民の目にとまっていることを確認
その他 消費者一般	男性	50～59歳	衛生学講義に活用
		60～69歳	授業に時々教材として活用
	女性	70歳以上	各種ボランティア活動集会の際に情報提供
		50～59歳	看護学校の授業で活用している
その他 消費者一般	男性	60～69歳	家族と話をして、知らせる
		30～39歳	自分で作成したホームページでも話題にする
	女性	40～49歳	送付されたパンフレット等、職場の待合室に置く
		50～59歳	講演会の話の中に入れた

2) 食品安全委員会のホームページ等による情報発信について

① 食品安全委員会のメールマガジンを閲読していない理由（問 8）

問 8 食品安全委員会のメールマガジンを読んでいない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。

（回答者数=6人）

職務経験	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	女性	30～39 歳	パソコンを開く時間が少なくなった 日常生活において関係ない事もあるため
		20～29 歳	何度かあげたけど、とてもわかりづらかったため使用をやめてしまいました
医療・教育職 経験者	女性	50～59 歳	昨年のモニター会議の時、多くの方からメールマガジンの改善の意見が有り、私も意見を述べました。しかし全く変化のないメールマガジンに思います。モニター会議時の意見はどこへ行ってしまったのかという疑問と、反映されない事が残念です
		30～39 歳	ホームページのダウンロードに、時間がかかるタイプの書式(PDF)もあるので
その他 消費者一般	女性	60～69 歳	自分用のパソコンがない。見る時は夫の使用又はプリントアウトしてもらっていた

3) 平成21年度食品安全モニター会議後の情報提供について

①食品安全モニター名簿及び食品安全モニター会議講演資料(CD-R)の利用内容(問10)

問10 名簿と講演資料それぞれについて、当てはまるものを全てすべて選んでください。また、利用した事例がありましたら、ご自由に御自由にお書きください。

○その他

(1) 名簿

(回答者数=4人)

職務経歴	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	男性	40～49歳	モニターの全体像の把握
		60～69歳	質問や情報提供したい時に使用する
食品関係研 究職経験者	女性	60～69歳	モニターの地域が分散していて良いと思った。自分の立場を自覚した
その他 消費者一般	男性	50～59歳	どのような人が、どの地域にいるかを知った

(2) 講演資料①「食品の安全性と信頼性確保」(食品安全委員会事務局からの説明資料)

(回答者数=0人)

回答者はその他を選択したが、回答欄に記載なし

(3) 講演資料②(食品安全委員会委員からの説明資料)

(回答者数=2人)

職務経歴	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	女性	50～59歳	民間の食の安全の集りで発表
その他 消費者一般	男性	70歳以上	利用しなかった

○利用事例

(1) 名簿

(回答者数=10人)

職務経験	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	男性	40～49歳	1名にメール配信
		50～59歳	新型インフルエンザセミナーに興味のある方に案内し、出席していただきました
		60～69歳	情報交換
	女性	50～59歳	地域の各種協力団体の集り(婦人会等)に利用 札幌の方と連絡をとり情報交換
		60～69歳	まだ利用してはいないのですが、利用する機会はあると思います 高齢者学級を開く時、モニター名簿を利用し、交流を図り意見を聞く
食品関係研究職経験者	男性	60～69歳	リスク勉強会で出席者の専門性確認
その他 消費者一般	女性	50～59歳	近くに住む人に連絡をとった
			同地域での活動者を知る事ができた

(2) 講演資料①「食品の安全性と信頼性確保」(食品安全委員会事務局からの明資料)

(回答者数=26人)

職務経験	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	男性	40～49歳	会議で紹介
			社内で回覧し、参考知識として活用
		60～69歳	食品安全に関する講習会で一部活用
			イベントなど食品の出店する前に視聴 講演の参考資料に役立った
	女性	30～39歳	会社での研修
			社内勉強会にて使用
		60～69歳	職場で利用 自分に納得して、人に説明するのに自信がもてた
食品関係研究職経験者	男性	40～49歳	大学での講義
			社員教育や小学校教育
		60～69歳	社内で友人との勉強会
			市民大学の研究グループ活動に利用
			食育の講演で抜粋使用 関心のある公民館長に貸出
	女性	60～69歳	食育指導者に貸出
医療・教育職 経験者	女性	50～59歳	職場の集まり、生協の集会
		60～69歳	月1回の講座(文化サークル、公民館)で説明
		70歳以上	自宅で利用

職務経験	性別	年代	回答
その他 消費者一般	男性	30～39 歳	職場での情報提供に利用
		40～49 歳	ベジタブル&フルーツマイスター協会、埼玉コミュニティ勉強会
		50～59 歳	知識の拡大
		70 歳以上	新聞記事(解説)とのニュアンスの差異について友人達と話した
	女性	50～59 歳	友人と視聴
			ボランティアの活動での会議にて
60～69 歳	地域の小学校で「食の安全性について」というテーマで講師をした		

(3) 講演資料② (食品安全委員会委員からの説明資料)

(回答者数=23人)

職務経験	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	男性	40～49 歳	社内で閲覧し、参考知識として活用
			会議で紹介
		50～59 歳	社内会議
		60～69 歳	食品安全に関する講習会で一部活用
	イベントなど食品の出店する前に視聴		
	女性	30～39 歳	会社での研修
			社内勉強会で使用
40～49 歳		職場で利用	
60～69 歳	自分で確かめる為に、視聴		
食品関係研 究職経験者	男性	40～49 歳	大学での講義
			社員教育や小学校教育
		60～69 歳	社内で友人との勉強会
			市民大学の研究グループ活動に利用
			食育の講演で抜粋使用
	女性	60～69 歳	関心のある公民館長に貸出
医療・教育職 経験者	女性	50～59 歳	授業の資料
			自宅で利用
		60～69 歳	職場の集まり、生協の集会
70 歳以上	月1回の講座(文化サークル、公民館)で説明		
その他 消費者一般	男性	50～59 歳	知識の拡大
	女性	50～59 歳	友人と視聴
ボランティアの活動での会議にて			

②食品安全モニター名簿、食品安全モニター会議講演資料へのご意見、ご要望（問 11）

問 11 食品安全モニター名簿、食品安全モニター会議講演資料について、他にご意見御意見などがありましたら、ご自由に御自由にお書きください。

(回答者数=91人)

職務経験	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	男性	30～39 歳	食品安全委員会が地方自治体ともしっかり連携をし、各地方で実施する「食品安全」に係わる勉強会や講演会、シンポジウムなどにモニターを参加させるような仕組みとなることを希望したい
			今後も続けていってほしいです。次回は、私も名簿にのせようと思います
		40～49 歳	地域別、または県別のモニター会議などがあると、モニター同志の交流ができて、その中より良い意見が出されるかも知れない。年1～2回程度
			活用の有無はともかく、名簿の配布は、できれば続けた方が良いと思う(できれば、専門分野等が記載されていれば、役立つ機会が増えると思います)
			「食品安全モニター名簿」が悪用されたりしないだろうか？個人情報の取扱いに疑問を感じます
			素人でもわかりやすいもの、親しみやすいものという観点を強化してほしい。データを充実させてほしい(数字は理解する根拠として重要)
			名簿は公共及び各方面にも公開され交流に活かして頂く為に利用してほしい。当方は個人的には名簿データの公開はOKです
			要約した資料にして頂けたら、もっと読めると思います
			食品安全モニター名簿について、個人情報なので、取扱いが難しいことは承知しているが、連絡先が非公開であったり、その方の専門分野がよくわからなかったりと、中途半端だったように思う。あの名簿で交流を広げるのは、少々難しいと思った
			各県の活動状況調査やモニター報告状況もほしかった
			名簿については使い方が難しい。県単位で勉強会などと食品安全委員会で開催できるいいのでしょう。講演資料はPDFなど電子ファイルがあると、さらに共有しやすいです
			配布された名簿でモニターに直接連絡することに、とまどいがある
		50～59 歳	次から希望しようと思います
			必要な情報資料だと思います
			会場でのとっさの判断で、名簿が漏洩されることを危惧し、希望しませんでした。食品安全委員会の主旨がわかり、次回はお願ひしたいと思います
			モニター名簿への記載については承りましたが、配布をお断りました。特定の方とのコンタクトの必要性がないのでは、と思ったからです。意見交換の有用性もあるとは思いますが、現実に見知らぬ方々とのコンタクトは難しいと思います

職務経験	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	男性	60～69 歳	モニターが持ちあわせている課題がわかると、モニター間で意見交換が出来、名簿の存在が必要となる(どちらのモニターからの情報かどうかわらないのか?)
			モニター会議講演資料ですが全体的には理解できるが、専門用語を少なくしていただくと、さらに親しみやすく、理解できると思います
			名簿は、個人情報に関するものであり、取扱いには、十分な注意が必要と考えます
			名簿の県内モニターの方が少ないことが残念です
			モニター名簿について、せめて職務経験区分を記入していただくと電話も出来るのですが、例えば私の職務区分は(1)の食品関係業務経験者ですが、化学記号は全くといっていい程わかりません。しかし製品の生産管理、在庫、流通等については、多少知識はあります。その点から、化学記号の得意な方の話を聞きたく思っても、あの名簿では利用出来ない点があります
			食品の安全・安心に関心のある人々とお会いできなかった
			食品安全モニター会議で、モニター同士のコミュニケーションが充分とれてなかったため、せっかくのモニター名簿が生かされてないと思う。せっかくの会議が数時間で単発で終わってしまうのではなく、十分な時間をかけ、コミュニケーションをしっかりと、後に続くような会議であって欲しい
	女性	20～29 歳	名簿は情報の外部への流出が少し心配です
			モニター会議資料を、欠席したため見られなかったので参考になった。名簿は、自分の時間が取れないので、いただいても活用できないと思い希望しませんでした。今後、食品においては常に興味を持っているので、子育てが落ち着いたら他の人と交流などしたいと思った
		30～39 歳	野村委員の資料6ページ目「何かガンの原因になると思うか?」は、主婦と専門家の認識ギャップを示す大変良い資料だが、1990年はもう古いと思う(野村委員自身もおっしゃっていたが)。食品安全委員会で、この調査をやってみるとどうだろうか?期待しています。私も広めたいので新しい資料がほしいです
			名簿はあったが、互いにどのように活用してよいか判らなかった。任期が短く、特に権限をもたないモニター同士が何かを行うというのは、難しいかもしれません
			名簿の送付を希望したが、登録しているメールアドレスと異なるアドレスで、名簿に載せたかったので、そこまで記入できるようにしてほしい
		50～59 歳	両面印刷が良いと思います
			これまでは活用していなかったが、今後、機会をみて活用していきたいと思っています
			名簿を有効的に活用するには、氏名や基本情報だけでなく、自己PRの記載等もあると参考になったのではないのでしょうか
		60～69 歳	連絡網がはっきりしていたら、もっと情報提供などできます。私の町の隣の市では食の安全に対する意識があり、何度か、講演会にも仲間入りさせてもらい、私も話す機会がありました
			「食品安全モニター名簿」は、以前にある会合と一緒に活動したことのある人の住所等連絡先が知りたかったので、役立ちました
			ふつう(一般人)の食品安全に対する認識とはかけ離れており、かけ橋とはなりにくい
			都市、主導型で地方にはあまり浸透しにくい様に思います
			食品安全モニター会議は年1回ではなく、年2回は開催してもよいのではないかと 新しい確かな情報を知る事ができ、助かる

職務経験	性別	年代	回答
食品関係研究職経験者	男性	30～39 歳	個人情報については、慎重に対応してほしいです
		40～49 歳	名簿については、モニター会議がもう少しあって、モニター同士が話す機会があれば、活用出来たように思う。現状では、なかなかコンタクトすることは困難であり、躊躇する。 モニター会議講演資料はホームページに置いてもらい、自由にダウンロード出来るようにして欲しい。また、他の資料もいろいろと整理してアップし、同様に使えるようにして欲しい
		50～59 歳	モニターの半数以上は、自らのビジネスの一環ではないでしょうか。どの方がどのような会社でこのモニターに關っているのかにより、情報交換、ネットワークも広がると考えます。「お仕事」、「社名」などの記載があれば、交流できますが、名前だけでは交流は困難です
		60～69 歳	講演資料などでは、国別比較とか県別とか地域性などについてもわかるようにして欲しい
			食品安全委員らしい「自ら評価」の資料を多く出して下さい。それにより、安全委員会の活動がよりクローズアップされ、前面に出ます。「自ら評価」の評価書の内容は、すばらしいとも思っています
			内容がわかりやすかった。講演資料の一部は、自分の講演で利用した
			モニター名簿の方の交流、または情報交換を行っていただけるかの意志がわかると連絡がとりやすいと思います
			食品安全モニター名簿に関して、自分のPC操作に不慣れなことと最近のメールに関する不祥事の多発を考え、メールアドレスを公開することを遠慮させていただいていたが、昨年8月のメールトラブルにより実質的に公開と同様になったことを遺憾に思っています。特に外部への作業等の委託については、今後充分に御配慮いただきたいと考えます
			名簿のみでは、相手の内容が判らない。県単位ぐらいの小規模な意見交換会の開催が望まれる
		女性	30～39 歳
40～49 歳	会議で一度会っただけでは、なかなか連絡してみようという気になれなかったので地域ごとの集りがあっても良いのではないのでしょうか		
60～69 歳	モニター同士の交流ができればと思い、名簿登録したのですが、利用できなくて残念です。名簿活用方法の糸口を作っていただければ幸いです		

職務経験	性別	年代	回答
医療・教育職 経験者	男性	30～39 歳	名簿については、どこまで連絡をとって連携をとっていいのか、判断に困った。(個人の責任でやるしかないの)いろいろな企画を次年度は期待している
		40～49 歳	名簿を利用する機会がなく残念でした
			名簿は、メールアドレスの未記入が多く、情報交換という点では、役立たなかった。メンバー個々が自由に話し合える所も作って欲しい
	60～69 歳	モニター名簿は必要と思います。昨年は連絡を取りたい人がありながら、使いませんでした。モニター会議で、もう少し近しくならないと遠慮がちになる	
	女性	40～49 歳	図、イラストが多ければそのまま使用できるので、なるべく多く掲載して下さい
			名簿等の作成により、東京都の中でも23区等のブロック分け等をして、種々問題がおきた時、随時報告までいなくても、素朴な疑問意見などがメールなどで集まる組織を作るともっと多くの活発な意見が出て、食品安全委員会の運営の“気付き”の部分になるように感じました。個人のままでは、こんな事言ったら、まちがっていたら、どうするかが先で、貴重な意見が出づらいつと感じた
			21年度の会議に出席できなかったので、せっかく名簿をいただいても、どういう方かわからず、活用できなかった。残念です。やはり、会議に出席することの大切さを感じました
			次回、名簿と資料を希望して利用していきたいと思う
			名簿は頂きましたが、どのように使用するのかなど、私自身、活用法がわかりません。まだまだ課題は多いと思います
			食品安全モニター名簿は、モニター会議前に事前掲載の有無を確認して作成すれば、会議のグループディスカッションetcで、もっと交流を深める事ができると思います
			分かりやすいCD-Rをいただけて、ありがたかった。会議などに出席できるのは一部の人のみなので、CD-Rを関係する教員に渡し、授業で活用していただいた
		50～59 歳	食品安全モニター会議が前期、後期と年2回設定されているとよいと思います
			モニター名簿を今のところ活用していませんが、質問したい場合に名簿があると安心感があります。また電話より、FAXの方がより具体的に聞くことができますので(また時間を選ばなくても良いので)、FAX番号も書いてもらえるとありがたいです
			名簿をどのように活用するのか、よくわからない
	60～69 歳	たくさんの情報をいただき、自身の講義に活用するだけで手いっぱい、他のモニターの方と情報交換するゆとりがありませんでした。モニター会議講演資料については、活用する機会を作れませんでした	
		せっかく名簿をいただいたのですが、利用できませんでした。もっとネットワークが広がれば、いいと思ったのですが、利用方法についてアドバイスをいただけるとありがたいです	
	70 歳以上	モニターを受けてモニター会議まで3か月足らずでしたのでモニターの役割、名簿の活用方法など理解していませんでしたので、活用力は弱かった。公民館(小人数のサークル)で食品安全委員会の存在を説明するにとどまった	
		モニターのメールアドレスが流出したとのこと、個人情報の悪用につながるので許せないこと。どれ位の人が記されているのか、便利とは思いますが私は希望しなかったが、講演資料はぜひ続けて配付して下さい。読み直さねば理解できない時がある	

職務経験	性別	年代	回答
その他 消費者一般	男性	30～39 歳	名簿は、自分の地域の方がわかってよかった。
			今後も、資料は紙媒体ではなく、CD-Rやメールでの電子媒体が良いと思います。
		40～49 歳	勉強会等で使用できるようにパワーポイントで使える形式のファイルで、BSEや遺伝子組み換え作物など、食の安全性に関する資料をもっと配付して欲しい。(ダウンロードでも可)
		50～59 歳	その時期のトピックスについて(新型インフルエンザ等)、多く講演していただけるとよい
		60～69 歳	2～3名の方とメール交換をしようと思っておりましたが、具体的な内容が固まらなかった。会議直後にアドレスがほしかった
	良い考え方と思います。一般的にモニターの方は意見交換の場を考えられているのが一番と思います。しかしながら、場の設定等ができないのでそのままです		
	70 歳以上	食品安全モニター名簿の利用法が、よくわかりません	
	女性	30～39 歳	名簿は、モニター全員に配布した方が良いと思います
			様々なことに活用することが可能だが、食品安全モニターにそれほどまでの権限(勉強会などのリーダーとして)がないように思われ、使用を敬遠してしまう
			食品安全モニター同士が有用情報を広く知らせたり、簡単な意見交換をできるような“場”がWeb上にもあると良いと思います
			講演会資料については、自分自身で活用しやすいが、名簿については、自分ひとりではどうすることもできず、もう一度集まった上で活用について話し合いたいと思った
			名簿の取り扱いには、十分な注意をお願いしたい
		40～49 歳	昨年夏のメールアドレスの流出騒動等があると、モニター名簿への掲載をますます警戒してしまいます
			モニター名簿は個人情報等の懸念もあるので、情報交換目的であればSNS(ソーシャルネットワークサービス)等での情報交換の場を与えられる方を希望します
			名簿については、送付者リストとして利用された方から、サイエンスカフェ等の案内をいただき、日時が合わずに参加は見送りましたが、有効活用されていると実感しました。CD-Rについても、今のところは、家族や友人と視聴しただけですが、今後、勉強会等での活用を考えていきたいです
食品安全モニター会議でのあの程度の交流では、連絡しづらいと思う。又、あの会議の間は気持ちが高ぶるが帰ると又、沈んでしまう			
モニターに選ばれなかったらきっと知らなかったであろう事を勉強できて、その時は大変充実感を覚えた。しかし、日常生活に戻ると忙しく、情報を多くの人に分かちあうことがむずかしくなった			

職務経験	性別	年代	回答
その他 消費者一般	女性	50～59 歳	都合で食品安全モニター会議に出席できなかったのですが、資料だけでなくCD-Rまで送っていただき、とてもうれしかったです。年1回ではなく2回くらいあるとよいと思います
			地元でも食品安全モニター講演が行なわれているのを知り、積極的に出かけてみたいと思います
			モニター会議等でリスクコミュニケーター育成講座の様な勉強する機会を作っていただけると、もう少し活動する上において自信がつくのではないかと思います。せっかくのいろいろな資料が生かされなかったことを、一年たって感じました
			他のモニターの方々と情報交換したいと思っていたが、モニター会議で十分な親交が深められなかったので、せっかくいただいた名簿も役に立てなかった。また会議があればぜひ役立てたい
			モニター名簿は、地域別に連絡・連携をとる為に必要であると思う。今回は利用・活用できなかったが、今後、活用していければと思う。議講資料も事前にあれば活用できるとされる
			食品安全モニター名簿、モニター研修会前に可能ならば、作成していただけたら、短時間の研修会のモニター交流の際に、生かせるのでは？と思うのですが…
		70 歳以上	昨年8月中、身内に不幸があり、自宅を留守にすることが多く、郵便物等未整理のまま片付けられ、目にする機会をなくし、折角お届け頂いたものを無駄にし、残念に思っています

4) 新型インフルエンザに関する情報提供について

①「新型インフルエンザに関するQ & A」の理解しにくい理由（問 12.2）

問 12.2「②理解しにくい」又は「③どちらでもない」を選んだ方は、理解しにくい理由についても、当てはまるものを全てすべて選んでください。

(回答者数=13人)

職務経歴	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	男性	60～69 歳	安全であることのもっと説得力のある根拠説明が不足 ①70°Cに達したら、いかなるウィルスも不活性化 ②鳥インフルエンザとの相違？ ③殺菌効果と初発菌数④感染動物を食する危害の発生可能性有無の根拠
			女性
	40～49 歳	見る、読む立場に立った表現が欲しい	
	60～69 歳	厚生労働省を参考にしている	
食品関係研 究職経験者	男性	50～59 歳	情報出典の記述がくどい感じ
医療・教育職 経験者	女性	30～39 歳	もっと、わかりやすいものがあったので
		40～49 歳	個人的に医療知識で理解できるが、一般の方がどうかかわからない
その他 消費者一般	男性	60～69 歳	特に関心があるわけではない
		30～39 歳	あまり色分けされていなく見にくい
	女性	40～49 歳	家族がメールマガジンを見ずに削除してしまった
			メールマガジンになじめず、あまり記憶に残っていない
50～59 歳	食品の安全から離れるが、ワクチンの問題や食品としての豚肉に関連する疑問の解消や対応についても知りたいと思う		

6) その他

①食品安全委員会からの発信情報についての意見（問 15）

問 15 食品安全委員会のホームページ・メールマガジンや情報発信について、他に御意見などがありましたら、御自由にお書きください。

(1) ホームページ・メールマガジン

(回答者数=135人)

職務経験	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	男性	30～39 歳	ホームページ「新着情報」までの情報が、以前に比べてとても多く、見づらくなっています
			子供や食品安全にあまり縁のない方をこのホームページへ誘導する仕組みや、トップページで絵や写真を増やしたり、ゲームで学べるような仕組みがあると良いと感じる
			ホームページからは、一番重要である科学的知見により評価を行う機関ということが伝わりにくい。文字が小さいし、フラッシュにするなど工夫が必要であると思う
		40～49 歳	メールマガジンは、季刊誌「食品安全」より専門的な内容で良いと思います(現状で良い)
			食品関連の危害情報は他にも農林水産省、厚生労働省、消費者庁のホームページにも掲載され、ダブっている内容が多いと感じる。組織上、いたしかた無いとは思いますが各省庁の役割を明確にし仕分けをした方が良いのでは？
			もっと簡潔にして頂けたらと思います
			農林水産省の食品安全エクスプレスに、食品安全委員会の新着情報が、掲載されるので、役に立っています
			メルマガは、週に1度という配信頻度にこだわりすぎ。重複した内容が多すぎるように思います。新しい情報がない時は、無理に配信する必要は無いと思います
			農林水産省消費安全技術センター(FAMIC)のメールマガジンを読んでいると、食品安全委員会のものと、内容が重複することが多く、食品安全委員会のものを読まずにスキップしてしまうことが多いです。食品安全委員会ならではの、連載コーナーなど、盛り込んでみませんか？
		50～59 歳	専門家向け情報と一般消費者対象とに分けて、表記してはどうか(なじみのない物質名の名称が必要か？)
			迅速でホットな情報を今後もお願いします
			非常に重要ですので、今後も積極的に情報発信をお願い致します
			メールマガジンにつきましては、とても参考になります。ただ、一般の主婦の方が見るには、専門用語などが多く、理解しにくい面もあるかと思えます。適度な用語解説などを挿入していただければ幸いです
			ホームページは見たい情報が探しづらい。メールマガジンは同じ情報が何度も流されてくる
			食品安全委員のコメントを読むのが楽しみです。できればメールマガジンに毎回欄を設けて欲しい

職務経験	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	男性	60～69 歳	商品(国内産輸入品別)の危害の発生状況。リコールの発生情報を適確に知りたい
			タイミングの良い情報発信を、今後ともよろしく願います
			事故が発生した原因のポイントを啓発することを重点に考えた方法をとること、肉の中心温度をなぜ上げる必要があるか、ハンバーグや成型肉を食する時の理由、焼肉で焼く箸とトングを使い分ける必要性、インフルエンザ、ノロウイルスの吐物処理の重要性等、危害防止のポイントをもっとPRすることが重要と思われま
			過去の情報を容易に再読できる仕組みを構築して欲しい
			ホームページのトップページについて、もう少し文字数を減らして、見やすく(簡潔に)していただけたらと感じます
			従来通りの送信を願いますが、文章の内容を(素人でも)わかりやすく願います
			現状で可
			メールマガジンをよく見ており、ホームページの存在を忘れる事もある。メールマガジンだけで全て網羅できたらよいと思う
			1度の発信による情報量が非常に多く、自分の興味ある事・必要な事等のほとんどが発信されている点は感心しています
			毎週、滞ることなくすごい情報が発信されてくる。すごいことだと感じます。ありがとうございます。今後ともよろしく願います
			講師に立つ場合があるので、中毒予防やお子様向けパワーポイントに反映したいので、コピーして使用できますか。もちろん、出所はきちんと表示します
			食中毒の予防についての情報はかなり詳しく記載されているが素人がすばやく判定出来る判定方法の最新の研究等をのせてほしい
			①「新型インフルエンザに関する情報」のタイトルでは読みたいと思わない。タイトルに食品安全と関連深い言葉を使わないと保健衛生のタイトルとなっている ②モニター専用のメルマガでないと読まない。社内の専門家の記事の登載を望む ③課題調査(アンケート)の内容でまとめられてもモニターにとっては興味が持てない内容ばかり、もうすこしモニターの気持をくみとっての質問が欲しい
		70 歳以上	①「新着情報」が良いのか、「トピックス」が良いのか検討の必要がありますが、各専門調査会の活動(評価結果)が、すぐわかるような情報提供ができないのかと思っています(事例としては、EFSAが実施しているような様式) ②委員会活動報告は活字媒体のみでなく、動画(一定期間)でも公表するのが良いと思います(EFSAのBoardMember会議録のように)

職務経験	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	女性	20～29 歳	内容が堅すぎて読みにくい
			携帯電話などでも見られるようにしてもらえたら、もっと身近に利用できると思う
		30～39 歳	ホームページ…情報があふれている。これは何度も見て自分なりに慣れるしかなさそう。これだけの情報量を、これ以上見やすく分かりやすく、というのは難しそうなので、自分自身勉強します。メルマガ…農業評価のところ、必ず「*」印のあとに、農業の説明がなされているのが大変ありがたい
			ホームページ内では科学的な情報など専門的なものがあるので、一般(消費者)でもすぐくわわかりやすい言葉で書いてもらえるといいと思う
			リンクが多く、詳しく知りたい場合は非常に役に立ちますが、関心が薄い内容などは、要点をまとめた説明があれば、もう少し親しみやすくなるのではないかと思います
			ホームページはきれいにデザインされ、見やすいです。メールマガジンは、もう少し簡潔だともっと読みやすいかと。最後のコラム、好きです
			一般の方向けの日常生活に実用できる情報を発信してほしいと思います(農業をなるべく口に入れないための野菜の選び方、洗い方、調理法等)
			内容がやや難しい
			メルマガは文字がならんでいて読みづらい。専門的な言葉が多く、わかりにくい
			危害を与える事件が起きた場合は、臨時でメールが届くので、情報を早く知ることができ、助かります
			メールマガジンのアドレス変更のお願いをしましたが、変更されなかったのが残念でした
			もっと小さな地方の情報にも、食品安全委員会の見解や研究結果を数多くの話題に広げて、公開してほしいです
		新しい情報を迅速に得る事ができ、活用させていただいております	
		40～49 歳	情報量が多的確なのは良いが、読みやすさ、見やすさに欠けると思います。一目で感覚的に選択できるよう、わかりやすさの面でもイラストや図表を使った方がいいと思います
			読む側の事を考えた配慮が見えないので、そういう事が相手に分かる様な、表現・サービスが必要
			ホームページ(トップページ)について、記載量は多いですが、シンプルで整理されたレイアウトで、余計な装飾もなく、情報を探している者には非常に見やすく好感がもてました ホームページを直接開くことは少ないですが、メールマガジンで新着情報が確認できますので、必要なときリンクを用いてホームページを見るという使い方をしております
			HPの新型インフルエンザのWHO、Q&Aのところに(英語)を入れてほしい。メールマガジンはもっと親しみやすくしてほしい

職務経験	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	女性	50～59 歳	私はとても、一年間役に立ったと思っていますし、情報をミニ情報として、お客様方(特に子供を育てていただけるお母様達)に
			特にメールマガジンは、毎週同じような内容ばかりで変化がないように思う。もう少し簡潔な内容にできないものかと思う
			ホームページは画像やバナーなどでカラフルなので比較の見やすいのですが、メルマガは情報量が多いため、またほとんどPDFへのリンクであり、読むのがおっくうになってしまいます。とてもレベルの高い内容で一般の人にはなじみにくい気がします
			最新の情報が得られて良いが、専門家向けの感じがする
			委員会HPトップにある「国民の健康と安全のために」からクリックすると、委員会の説明パンフにリンクさせるか、または委員会の設立・役割・リスク分析についてもう少し簡単にした1ページ程度の説明がすぐ読めるようにしてはどうか。写真の意味が？です。
			委員長あいさつがあった方がよい。全体に「人」の気配が感じられないので。
			メールマガジンは週2回発行にして「情報・イベント・お知らせ号」と「会合・議事概要号」を別にしたらどうか
		色々な内容の事が盛りだくさんすぎる気がする	
		情報量が多くて見にくい。専門性の高い物は理解しにくい	
		60～69 歳	一般の消費者として興味のあるものはこんにやくゼリーの評価(結果はともかくして)
これからもホームページは、見させていただきます			
食品安全について、いろいろ勉強出来、参考になってありがたいです			
食品関係研 究職経験者	男性	40～49 歳	仕事で確認しているのですが、メールマガジンは出張先でも見られ、非常に役立っている
			食品安全モニターや関係者にとっては情報満載で利用されると思うが、一般消費者にとっては内容が多過ぎ。また難しいと感じる。大変かもしれないが、別にもっと平易なバージョンも作って、国民への情報提供をすべきと思う(キッズボックスのような内容ばかりのもの位が良いと思う)
		50～59 歳	一般向と専門性の高いものが同列で少し見にくく感じますが、読み手が必要とする情報によれば、迅速な情報が得られると感じています
			ホームページに掲載されている情報は、他のルートからも入手できる。メールマガジンは、当方の意志に関係なく、重要緊急事項を選んで送られてくるため短時間に認識できる
		60～69 歳	もう少し読み易くしてください
			ホームページは常に見るようにしています。メルマガと同様、情報入手に役立っています。ただ情報量が多い反面、文字が小さくなってしまい読みづらいことがあります
			食中毒、特に「ノロウイルス」、「カンピロバクター」についての最近の知見についての情報をお願いしたい
			掲載の様式をより工夫し、分野毎、内容毎にくくってみては？

職務経験	性別	年代	回答
食品関係研究職経験者	女性	30～39 歳	難しい表現や語句が多く、読んで理解するのに時間がかかりました。もう少しわかりやすく、簡単にまとめてもらえるとうれしいです
			幅広い人を対象とするため、知識のレベルなどを決めるが、難しいと思いますが、もう少し難易度を上げて良いと思います
			メールマガジンは、専門的な内容と一般向けの内容が混在していて読みづらいので、2パターンに分けるか、目次からURLで興味のある内容にリンクする形式の方が見やすいと思います
		40～49 歳	HPでもメルマガでも、その時期にあった内容の食品安全クイズのようなものを入れてみたらどうでしょうか
			毎週金曜日楽しみにしています
			会社の人にも教えました
		60～69 歳	もう少し要件をわかりやすくしてほしい
			習慣時にメールマガジンを見ています。近隣の意見交換会など、参加できるものがあればと搜しています
		医療・教育職経験者	男性
40～49 歳	情報量が多い		
	最重要情報か通常の連絡か、解りやすく、文字を色で分ける等工夫して欲しい。早急に閲覧し、啓蒙しその反応を委員会にフィードバックさせるシステムを作って欲しい。メンバーが知っているだけでは広報にはならない		
50～59 歳	ホームページは情報が整理されており、後日確認するのに大変便利です。メルマガは、新着情報の中に興味があるものを選択するのに便利で助かっています		
女性	20～29 歳		携帯電話のメールアドレスに登録して、携帯電話でも見られるととてもよいと思います(ネットもある程度、携帯で使用してるため)
	30～39 歳		レイアウトをもう少し見易いものにして頂けると嬉しかったです
			子ども向けの食中毒予防のページはわかりやすかった
	40～49 歳		中学生向け程度の内容が一般の方へ伝わりやすいようです
			メルマガは週1回でタイムリーな内容で良いと感じています。しかし、ホームページは、整然としすぎていて、見る気もあまりしない
			メールマガジンは情報に接する入口になるので、端的に多くの事柄を、しかし余り全体が長くないように工夫して、毎号きちんとチェックできるようにお願いします
			重要なお知らせや、お知らせの中で、興味のある内容が多く、参考にさせていただきました
			一般の人には少し理解が難しい印象がある
			メールマガジンは活字が多く、見にくいと(読みにくいと)感じます。内容が堅いので仕方のないことですが、もう少し努力をして頂きたいです
			メールマガジンは、食品安全委員会というハードそうな名前とは違い、とてもソフトに情報が提供されていて、もっと一般の方々がどんどん閲覧していただければいいのにと感じています。知名度をUPする方法はないのでしょうか
			最新の情報を週1のペースで、配信していただけるので便利
	50～59 歳		文字が多すぎるように感じます
			メールマガジンを送っていただいているのでまわりにいる人たちよりいち早く情報を得ることができ、知人にも伝えることができました(職場・地域・家族)

職務経験	性別	年代	回答
医療・教育職 経験者	女性	60～69 歳	沢山の情報に全部目を通すことはむずかしいですが、必要なものについては理解を深められてよいです
			専門家向けと一般の方向けの情報があつたらいいと思いました
その他 消費者一般	男性	20～29 歳	ホームページはシンプルで良い。今後も下手にFlash等でゴチャゴチャしないで欲しい
		30～39 歳	トップページは長すぎます。スクロールをしないような情報提供方法とする事(最重要の事だけトップページにのせ、それ以外はリンクページへ)を望みます
			メールマガジンはあまりにも(個人的に)専門的すぎるので読んでいると途中でやめてしまうこともある
			メールマガジンは大切で、より重大な事項等がリアルタイムに入り、大いに役立ちます。ホームページも見やすく、情報源の要だと思っていつも見えています
		40～49 歳	ホームページ上に記載されているリンクの見出しの文字数が多く、目的の記事が探しにくい
		50～59 歳	メールマガジンは、もう少し読みやすくしていただけると良い
		60～69 歳	社会的問題及び健康食品に関しての情報に注視し、自己の見識を増やしていきたいと思えます
メールマガジンからの情報が、役立っている。必要なものは、ホームページからみて理解している			
70 歳以上	今後とも関心を持って見ていくつもりですのでよろしくお願いします		
その他 消費者一般	女性	20～29 歳	誰でもわかりやすくしてほしい。もったいない
			文字の量が多いので、読みづらいです。一般の人向けにもう少し平易な文章にすると親しめると思います

職務経験	性別	年代	回答
その他 消費者一般	女性	30～39 歳	もう少し読みたくなるようなホームページを使ってほしい
			メールマガジンの“重要なお知らせ”が何号かにわたって同じ内容であることがあり、そんなに緊急ではないんだと思ってしまいました
			全て(キッズページなど一部を除く)が知識のある人が作成したように思われる内容で、短時間で要点のみを知りたい一般人には難しい
			ホームページ:PDFが多すぎる。見たい情報がすぐに見られないのはストレスになります。 メールマガジン:もう少しかみくだいた内容にならないでしょうか。専門的知識がきちんとある人でないと読みにくい
			食品安全委員会のホームページは、一般消費者にとっては情報量が多いことがかえって分かりづらくしているように思います。イラストや図式を使用した分かりやすいページを別途(トップページから入口を分ける等)作成した方が、食品安全委員会の活動をより広く見てもらえるのではないのでしょうか?
			メールマガジンが届くタイミングで、興味のある話題を中心にホームページを閲覧しています。役に立つ情報が多いと思います
			ホームページが企業等を対象としているのであれば、このままで十分に思われますが、一般消費者(主婦)も対象である場合、堅苦しく難し過ぎると思います。メールマガジンは内容豊富で有難いのですが、日常生活では縁のない物質(農薬等)の名前など、理解に時間のかかる内容が多く、周囲に情報提供するにしても専門的すぎて興味をひかない様に思えます
			ホームページは食品による安全の為の情報わかりやすく見やすいと思い、毎回利用しています。メールマガジンは近日のお知らせや報告が届くのを読んでではまとめます
			毎週、メールマガジンを見てから、ホームページ内の記事を読んでいます。週に1回というペースが、ちょうどよいです
			もっと親しみやすく、絵や写真をたくさん使った方がいいと思う。専門知識のない人にももらえるような親しみやすさが必要だと思う
			内容は良いと思うが、教科書のおもしろみがない。一般人には、とっつきにくいようです
			子供向け食中毒予防などは分かりやすく、友人の栄養士の子にも、保育所などで活用できると紹介できました
迅速な情報提供ツールとして今後も期待しています			

職務経験	性別	年代	回答
その他 消費者一般	女性	40～49 歳	メールマガジンはともかく、ホームページはもう少し親しみやすさがあつた方がよいと思います (もっと写真や絵を使う等)
			情報がわかりやすく、リンクもしっかりされていて大変利用しやすいです
			ホームページは、忙しいと、しばらく見ないこともあります。メールマガジンは自分でアクセスしなくても毎週必ず読むので、重要なことがホームページに載った時に気がつくので、とても助かります
			字数が長くて、読む気になれない。文章を簡潔にイラスト、写真を多くして親しみやすくしてほしい
			熱心なまじめさはよく伝わるのだが、読んでいると何だか結局わからない感じがしてきてしまいます。仕方ないことなのか？
			内容から仕方がないと思うが、イラスト、写真等、多用しないと引き付けにくい、魅力的でない
			情報量がかなり多く、知りたい分野をすぐに見ることができる。その一方、詳しく理解できないのもっとわかりやすく要約された内容をのせてほしい
			ホームページに写真やグラフをもっと入れても良いのではないのでしょうか。また、役所言葉が多々あるので少なくした方が親しみやすいです
			メールマガジンの関心のある部分は読みますが、全体的に内容が難しいと感じます。職務区分4のその他消費者一般にとっては、本当にわかりません
		50～59 歳	充実した内容になっていると思います。メルマガから得られる情報は、自分から探しに行かず得られるので、大変助かっています
			専門分野に関する内容が多いので、もう少し垣根を低くしてほしい
			メールマガジンはこちらの意志に関係なく、定期送信されるので自然とその内容を必ず、あるいは概要だけでも見るきっかけになるので良いです
			もっとわかりやすいものを希望します
			メルアドの流出事件は、ショックでした
			週1回のメールマガジンは、情報収集等でとても役に立ちました。臨時のメールマガジンが届くので、いち早く情報も知る事ができました
		60～69 歳	量が多すぎて見るのが大変な時がある
			一般の人はホームページを開けることがないと知り、もっと多くの人の利用があればという思いです
		70 歳以上	子供向け食中毒予防については、もう少しきれい、見やすいという形に出来たら尚子供も興味を持つのでは…(配色もご配慮を)
			情報量が多いので、十分に読めませんが、興味のある部分を選んで読んで役立っています

(2) 情報発信

(回答者数=75人)

職務経験	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	男性	30～39 歳	全ての情報を「重要」「(色付き)お知らせ」「ホットピック」にしてしまうと、何が重要か全くわからなくなります
			メルマガは非常に目を通しやすく、良い仕組みでしたが、やはり文字が多いので、要点やトピックスがもっと分かりやすいと良いと感じる
			内容を読み進めないと最終的にどうなのか(安全なのか)がわからないので、一般の人にもわかるように、要約が必要だと思う。たとえばカンピロバクターの評価について、PDFを長々と読まないで理解できない
			インターネットで難しい話を理解しようとする人は、少ないと思います。つまり、字ばかりのホームページは、意味がないのではないかと思います
		40～49 歳	情報等の発信については、十分と思います。興味ある情報のみ見ているにすぎず、その情報を生かしてきていないことを反省しております
			季刊誌「食品安全」は一般の人向けに、もっと理解しやすく取付きやすい内容にして下さい
			農業や添加物についての啓発が多い様に感じますが、最近の様に餅についての課題等、身近にある“食の危険”について、もっと発信が多いと良いと思います
			私は、ホテルの料理人です。ノロウイルスについて現場の取り組みや、実際に具体的にどう対処しているのか？また、良い事例として他のホテルでは、どう取り組んでいるのかが気になります
			スピーディーでよいと思います
		50～59 歳	食品安全の啓蒙量を増やしてはどうか
			勉強会でも使えるような、パワーポイントの資料があったらお願いします
			非常に重要ですので、今後も積極的に情報発信をお願い致します
		60～69 歳	食品安全委員会の知名度の低さを憂っています。国民に食品安全委員会の周知を計るため、マスメディアへの発信を増やしてはどうか
			タイミングの良い情報発信を今後ともよろしくお願いします
			事故が発生した原因のポイントを啓発することを重点に考えた方法をとること、肉の中心温度をなぜ上げる必要があるか、ハンバーグや成型肉を食する時の理由、焼肉で焼く箸とトングを使い分ける必要性、インフルエンザ、ノロウイルスの吐物処理の重要性等、危害防止のポイントをもっとPRすることが重要と思われます
			会議資料等の開示は評価できる
			新型インフルエンザのような国民が不安をもつ事例については、広くテレビ、新聞の広報を用いて、食品の安全性についてPRすることが最も効果があると考えます

職務経験	性別	年代	回答
食品関係 業務経験者	女性	20～29 歳	特に問題ないと思います
			定期的に情報を得られるので良いと思う
		30～39 歳	DVDの映像配信を、もっと多くの方に見て頂きたい。文字で読むよりずっと、リスクについて理解を深めることができると思う。よいきっかけにもなる。「政府広報オンライン」「政府インターネットテレビ」は知らない人が多いのでは。私自身、モニターになって初めて知りました。病院や公民館等のロビーで流すとか、多くの人の目にふれる所で流して、まず存在を知ってもらうことが大切だと思う
			ホームページだけでなく縮小型でもいいのですが、携帯電話でも簡単に見られるようにできればいいと思う
			先日のこんにやくゼリーのニュースなどのように、もっとニュースやネット上で会議の様子など取りあげられると良いと思う
			双方向で行われる情報の提供があればよいと思います
			更新頻度が少ない
			モニターはいろいろな立場の方々が集まっているので、情報の中から自分の分野で活用できる情報を得られる目印があると良いと思う。例えば、食品、食物、衛生、農業・農薬など、大きな区分に分けて情報をまとめるなど…
			季刊誌は、PDFファイルでメール発信してもよいと思います
			テレビとは違い、情報内容に信頼性があると思っています。これからも正しい情報を、より多く発信してほしいと考えています
		40～49 歳	的確で早いと思います
			食品安全委員会の情報発信は早く、好ましく思っています
			一般の人の目につくよう工夫してほしい
		50～59 歳	なかなか意識して聞く耳をもっていないと、知らないことが多いと思っています。専門用語が多いと困ってしまうことがあります
			情報が都道府県や市町村の行政に届き、末端の広報に生かしてほしい
			タイムリーな発信を。情報量は必要最小限で十分では 情報発信は大いにしてほしいが、有効な手段がないのか？
		60～69 歳	色々な情報にとても、興味をもっています
			大変申し訳けないのですが、花王のエコナの安全性についての、決論が出ていればホームページに掲載してほしいです

職務経験	性別	年代	回答
食品関係研究職経験者	男性	40～49 歳	一般的なメディアで、「食品安全委員会」の名を聞くことが皆無である。あまり見聞きするのは食の安全に問題があることにつながってしまうかもしれないが、ある程度は日頃から見聞きできる状態の方が、何か食の安全のことは食品安全委員会に、と思ってもらえるのではないかと。国民にとって大事な組織であるのだから、もっと名前を知ってもらうように頑張って欲しい(もちろん、食品安全モニターも努力しないとけない)
		50～59 歳	一般人向けから専門家向まですばやく発信されていると思います
			事実や結果だけではなく、今後何が危険とされるか、何を規制する考えが出てきているか、今日懸念されていることがあるか、など将来予測的発信を希望する
		60～69 歳	タイムリーに分り易くお願いしたい
			「自ら評価」について(例:トリ肉のカンピロバクター食中毒評価で)まとめた評価書を関係するリスク管理機関がどんな対策を実行したのか、確認結果の情報発信が必要と考じる
			文字は拡大するとしても、情報が多いとどれを選んでいいのか迷うこともあります。分野の整理の(今でもなされているが)改善の余地ありと考えます
			知人やグループ活動において「中国の冷凍餃子の原因解明」への情報を聞かれますので、発信をお願いしたい
			食品輸出国の食品安全への取組状況や、食品安全対策についても発信していただくと、不安が軽減されると思います
		昨年秋、鳥取市で開催された日本獣医学会学術講演会で見上前委員長による講演を拝聴しましたが、山陰地方では食品安全委員会関連の会合の開催機会は少ないので、これに類する催しについては食品安全委員会の立場で広く情報発信をお願いしたい	
		今までに発信した内容(項目)一覧表を付け、今後の計画を記す	
女性	30～39 歳	もう少しこまめに発信し、現代の情報化社会に合った迅速な対応を願いたい	
	40～49 歳	タイミングも良く、生活にも役立ちました	
	60～69 歳	もう少し要件をわかりやすくしてほしい	

職務経験	性別	年代	回答
医療・教育職 経験者	男性	40～49 歳	発信回数も多く、全て読めませんでした
		60～69 歳	適時適切に発信されて自己啓発、自己研修周辺への情報発信に大変役立っています
		70 歳以上	貴職へ寄せられるモニター氏からの報告の要約(100字程度でも)が1～2か月単位で届けていただければ、参考になり(氏名カットで)、積極性に通じるのではないかと思います
	女性	30～39 歳	ホームページの内容はとてもわかりやすかったが、受け手側が興味をもってそのページまでたどり着かないと、情報が得られない。すべての人にこのような情報を伝えるにはどうしたらいいか、難しいところだと思う
		40～49 歳	中学生向け程度の内容が、一般の方へは伝わりやすいようです
			メルマガは良いかと思います。回数、内容についても OK。しかし、本来一般の方が見ます。HPの方が理解しづらく、見づらいように感じています。変更を希望します
			消費者庁、厚生労働省、農林水産省などと、消費者の視点で連携を取りながら、早く、わかりやすく、必要な人には詳細な情報提供をお願いします
			全て読ませていただければ、もっと多くの知識を得られたであろうと思います。こんなに多くの情報を発信していただいているのに、忙しさにかまけて、十分な活用ができていない自分を反省しています
		50～59 歳	PDFよりも、ボタンクリックでページがめくれるような雑誌を読む形式にしてほしい
		60～69 歳	週一回でなく、必要なものは、その都度、適確にすばやく届けていただけるとありがたいです
70 歳以上	食品安全季刊誌19・20モニターからの報告(各月ごと)用語集、各種リーフレット、DVD等を受けて学習させていただいています		
その他 消費者一般	男性	30～39 歳	メールマガジンの早い段階での最近情報は、大いにプラスになり、広く理解と知識に今後必要であります
		60～69 歳	ブログ等で広く情報を収集及び発信していきたいと思っており、より積極的に今年よりかわりたく思っております
	女性	30～39 歳	頻繁に情報発信して下さい。特に体に関係する(健康にかかわる)こと
			食品安全委員会の立場からは当たり前だが、最初から最後まで情報量が多すぎる。さらに情報を区分けして、発信対象を考慮したものがあれば、と思う
			タイムリーな内容と、そうでないものの情報の扱いに変化がないと、興味が薄くなる。なぜ今、トップにノロウィルスがきていないのか、疑問です
			ホームページ、メールは自分で情報をまとめやすいです
	40～49 歳	季刊誌、食品安全が送られてきても専門の方には理解できても、一般の人にはわかりにくく、どのような人に読んで欲しいのか明確にしてもらわないと、配布しにくいです	
		Feedで最近の情報が来るようにして頂けると有難いです(ウェブサイトの配信情報などを伝える技術。登録することで、定期的に更新情報を収集し、最新の情報を知ることができる)	
		パソコンを使わない人々への情報発信が、まだ少ないと感じます。都道府県の広報紙等へも、もっと情報を載せていただきたいと思います	
		メディアの方が情報は早いので、知りたい情報はもっと多く発信してほしい	
その他 消費者一般	女性	50～59 歳	Q&A形式の情報は、とてもわかりやすいです
			発信された情報がどこに向けられているのか、対象者を明確にした方がよいと思う時がある 少し堅苦しい気がします。しかし大変参考になります
		60～69 歳	内容は専門的であり、ある程度の知識のある人には便利に勉強出来ると思います
		70 歳以上	「特に新型インフルエンザに関する委員長の見解については、特にわかりやすく、大変役立ちました

統計表（上段：人、下段：％）

性別

	全 体	男性	女性
合計(人)	348	126	222
％	100.0	36.2	63.8

年代

	全 体	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60～69 歳	70 歳以上
合計(人)	348	19	73	100	60	86	10
％	100.0	5.5	21.0	28.7	17.2	24.7	2.9

職務経験

	全 体	食品関係業 務経験者	食品関係 研究職経 験者	医療・教育 職経験者	その他消費 者一般
合計(人)	348	138	35	54	121
％	100.0	39.7	10.1	15.5	34.8

モニター継続

	全 体	平成 20 年 度以前から	平成 21 年 度から
合計(人)	348	187	161
％	100.0	53.7	46.3

食品安全委員会メールマガジン登録

	全 体	食品安全委 員会メール マガジンを 登録してい る方	食品安全 委員会マガ ジンを登録 していない 方
合計(人)	348	282	66
％	100.0	81.0	19.0

食品安全モニター会議出欠

	全 体	平成 21 年 度食品安全 モニター会 議に出席さ れた方	平成 21 年 度食品安 全モニター 会議に出 席できなか った方
合計(人)	348	252	96
％	100.0	72.4	27.6

食品安全モニター会議参加会場

	全 体	千歳	仙台	東京	名古屋	大阪	岡山	福岡
合計(人)	348	11	29	115	47	65	36	45
％	100.0	3.2	8.3	33.0	13.5	18.7	10.3	12.9

問 1 食品安全委員会からの情報で重要と考えているもの

	全 体	①ホームページ	②メールマガジン	③季刊誌『食品安全』	④DVD	⑤食品の安全性に関する用語集	⑥パンフレット『どうやって守るの？食べ物の安全性』	⑦意見交換会等への出席	⑧食品安全モニターからの報告(随時報告)	⑨食品安全モニター課題報告調査結果	⑩その他
合計(人)	348	201	236	239	65	106	110	118	139	98	7
%	100.0	57.8	67.8	68.7	18.7	30.5	31.6	33.9	39.9	28.2	2.0

問 2 食品安全委員会からの情報の活用

	全 体	①友人や知人などの第三者に情報提供している	②社内やサークル・勉強会などの社会活動で活用している	③知識を得るなどの自己啓発に活用している	④その他(具体的に記入してください)	⑤情報提供や活用は特にしていない
合計(人)	348	243	126	290	28	3
%	100.0	69.8	36.2	83.3	8.0	0.9

問 3 食品安全委員会のホームページの閲覧頻度

	全 体	①ほぼ毎日見ている	②週に数回見ている	③月に数回見ている	④これまで数回見たことがある	⑤ホームページを見る環境にあるが、全く見たことがない	⑥ホームページを見る環境にない	無回答・無効回答
合計(人)	348	11	69	123	108	10	26	1
%	100.0	3.2	19.8	35.3	31.0	2.9	7.5	0.3

問 4.1 食品安全委員会のホームページの情報発信量の評価

	全 体	①非常に評価している	②ある程度評価している	③あまり評価していない	④全く評価していない	無回答・無効回答
合計(人)	321	113	174	15	0	19
%	100.0	35.2	54.2	4.7	0.0	5.9

問 4.2 食品安全委員会のホームページの情報の探しやすさの評価

	全 体	①非常に評価している	②ある程度評価している	③あまり評価していない	④全く評価していない	無回答・無効回答
合計(人)	321	29	206	66	1	19
%	100.0	9.0	64.2	20.6	0.3	5.9

問 4.3 食品安全委員会のホームページの内容の分かりやすさの評価

	全 体	①非常に評価している	②ある程度評価している	③あまり評価していない	④全く評価していない	無回答・無効回答
合計(人)	321	42	187	66	7	19
%	100.0	13.1	58.3	20.6	2.2	5.9

問 4.4 食品安全委員会のホームページの親しみやすさの評価

	全 体	①非常に評価している	②ある程度評価している	③あまり評価していない	④全く評価していない	無回答・無効回答
合計(人)	321	14	131	137	20	19
%	100.0	4.4	40.8	42.7	6.2	5.9

問 4.5 食品安全委員会のホームページの情報掲載のタイミングの評価

	全 体	①非常に評価している	②ある程度評価している	③あまり評価していない	④全く評価していない	無回答・無効回答
合計(人)	321	89	195	16	0	21
%	100.0	27.7	60.7	5.0	0.0	6.5

問 4.6 食品安全委員会のホームページの総合評価

	全 体	①非常に評価している	②ある程度評価している	③あまり評価していない	④全く評価していない	無回答・無効回答
合計(人)	321	36	236	30	0	19
%	100.0	11.2	73.5	9.3	0.0	5.9

問 5 食品安全委員会のメールマガジンの閲読状況

	全 体	①毎号よく読んでいる	②号によっては、よく読んでいる	③あまり読んでいない	④配信を受けているが、読んでいない	⑤配信を受けていない	無回答・無効回答
合計(人)	348	106	128	43	6	62	3
%	100.0	30.5	36.8	12.4	1.7	17.8	0.9

問 6.1 食品安全委員会のメールマガジンの「重要なお知らせ」「お知らせ」への興味の度合

	全 体	①非常に興味がある	②ある程度興味がある	③あまり興味はない	④全く興味はない	⑤分からない	無回答・無効回答
合計(人)	234	166	64	2	0	0	2
%	100.0	70.9	27.4	0.9	0.0	0.0	0.9

問 6.2 食品安全委員会のメールマガジンの食品安全委員会及び専門調査会会合の結果概要への興味の度合

	全 体	①非常に興味がある	②ある程度興味がある	③あまり興味はない	④全く興味はない	⑤分からない	無回答・無効回答
合計(人)	234	26	154	50	0	0	4
%	100.0	11.1	65.8	21.4	0.0	0.0	1.7

問 6.3 食品安全委員会のメールマガジンの食品に関する意見交換会等の結果概要への興味の度合

	全 体	①非常に興味がある	②ある程度興味がある	③あまり興味はない	④全く興味はない	⑤分からない	無回答・無効回答
合計(人)	234	39	145	46	2	0	2
%	100.0	16.7	62.0	19.7	0.9	0.0	0.9

問 6.4 食品安全委員会のメールマガジンの食品安全委員会及び専門調査会会合の開催案内への興味の度合

	全 体	①非常に興味がある	②ある程度興味がある	③あまり興味はない	④全く興味はない	⑤分からない	無回答・無効回答
合計(人)	234	17	93	108	11	2	3
%	100.0	7.3	39.7	46.2	4.7	0.9	1.3

問 6.5 食品安全委員会のメールマガジンの食品に関する意見交換会等の開催案内への興味の度合

	全 体	①非常に興味がある	②ある程度興味がある	③あまり興味はない	④全く興味はない	⑤分からない	無回答・無効回答
合計(人)	234	49	106	68	6	1	4
%	100.0	20.9	45.3	29.1	2.6	0.4	1.7

問 6.6 食品安全委員会のメールマガジンの食品健康影響評価（案）に対する意見・情報の募集への興味の場合

	全 体	①非常に興味がある	②ある程度興味がある	③あまり興味はない	④全く興味はない	⑤分からない	無回答・無効回答
合計(人)	234	37	141	47	2	3	4
%	100.0	15.8	60.3	20.1	0.9	1.3	1.7

問 6.7 食品安全委員会のメールマガジンの食品安全委員会ホームページの到着情報への興味の場合

	全 体	①非常に興味がある	②ある程度興味がある	③あまり興味はない	④全く興味はない	⑤分からない	無回答・無効回答
合計(人)	234	79	133	18	1	0	3
%	100.0	33.8	56.8	7.7	0.4	0.0	1.3

問 7.1 食品安全委員会のメールマガジンの情報発信量の評価

	全 体	①多い	②ちょうど良い	③少ない	無回答・無効回答
合計(人)	234	85	139	8	2
%	100.0	36.3	59.4	3.4	0.9

問 7.2 食品安全委員会のメールマガジンの内容の分かりやすさの評価

	全 体	①分かりやすい	②ふつう	③分かりにくい	無回答・無効回答
合計(人)	234	57	136	39	2
%	100.0	24.4	58.1	16.7	0.9

問 8 食品安全委員会のメールマガジンを閲読していない理由

	全 体	①興味がないから	②参考に ならないから	③内容が 難しいから	④読みに くいから	⑤専門的 な情報が 多いから	⑥情報量 が多すぎ るから	⑦読まな くても日 常生活に 支障がな いから	⑧忙しい から	⑨ホーム ページを 頻繁に読 んでいる から	⑩その他	無回答・ 無効回答
合計(人)	49	1	3	21	25	25	22	7	20	0	6	1
%	100.0	2.0	6.1	42.9	51.0	51.0	44.9	14.3	40.8	0.0	12.2	2.0

問 9.1 食品安全モニター名簿の食品安全モニター活動への有用度合

	全 体	①役立った	②役立たな かった	③どちらで もない	④配付を希 望しなかつ た	無回答・無 効回答
合計(人)	348	32	61	98	151	6
%	100.0	9.2	17.5	28.2	43.4	1.7

問 9.2 食品安全モニター会議講演資料(CD-R)①の食品安全モニター活動への有用度合

	全 体	①役立った	②役立たな かった	③どちらで もない	④配付を希 望しなかつ た	無回答・無 効回答
合計(人)	348	58	6	26	226	32
%	100.0	16.7	1.7	7.5	64.9	9.2

問 9.3 食品安全モニター会議講演資料(CD-R)②の食品安全モニター活動への有用度合

	全 体	①役立った	②役立たな かった	③どちらで もない	④配付を希 望しなかつ た	無回答・無 効回答
合計(人)	348	60	4	27	224	33
%	100.0	17.2	1.1	7.8	64.4	9.5

問 10.1 食品安全モニター名簿の利用内容

	全 体	①交流を図りたかった人に連絡	②質問したいことがある人に連絡	③情報提供したいことがあり、送付者リストとして利用	④同一都道府県内や同一市町村内など、地域で交流や活動をするために利用	⑤その他	無回答・無効回答
合計(人)	32	13	3	4	17	4	1
%	100.0	40.6	9.4	12.5	53.1	12.5	3.1

問 10.2 食品安全モニター会議講演資料(CD-R)①の利用内容

	全 体	①自分又は友人などと視聴	②他の人に貸出、譲渡等	③勉強会などで他の人に説明	④その他	無回答・無効回答
合計(人)	58	43	11	25	1	5
%	100.0	74.1	19.0	43.1	1.7	8.6

問 10.3 食品安全モニター会議講演資料(CD-R)②の利用内容

	全 体	①自分又は友人などと視聴	②他の人に貸出、譲渡等	③勉強会などで他の人に説明	④その他	無回答・無効回答
合計(人)	60	41	12	26	3	5
%	100.0	68.3	20.0	43.3	5.0	8.3

問 12.1 「新型インフルエンザに関するQ & A」の「理解のしやすさ」の評価

	全 体	①理解しやすい	②理解しにくい	③どちらでもない	無回答・無効回答
合計(人)	348	266	25	54	3
%	100.0	76.4	7.2	15.5	0.9

問 12.2 「新型インフルエンザに関するQ & A」の理解しにくい理由

	全体	①図表による表現がない	②結論が先に書かれていない	③説明が端的、明白でない	④文章全体の量が多い	⑤一文の長さが長い	⑥専門用語が多い	⑦表現が難しい	⑧文字が小さい	⑨問(Q)の一覧がない	⑩その他	無回答・無効回答
合計(人)	79	14	14	22	28	8	22	28	4	8	14	6
%	100.0	17.7	17.7	27.8	35.4	10.1	27.8	35.4	5.1	10.1	17.7	7.6

問 13 食品安全委員会のホームページ「新型インフルエンザ（インフルエンザ A/H1N1）に関する情報」の閲覧動機

	全体	①新型インフルエンザを報道などで知ったから	②頻繁に食品安全委員会のホームページを閲覧していたから	③偶然、食品安全委員会のホームページを閲覧したから	④食品安全委員会のメールマガジン臨時号が届いたから	⑤その他	⑥分からない、記憶にない	⑦これまで見ていない
合計(人)	306	104	35	17	100	8	8	34
%	100.0	34.0	11.4	5.6	32.7	2.6	2.6	11.1

問 14.1 「新型インフルエンザ（インフルエンザ A/H1N1）に関する情報」に掲載している「食品安全委員会（食中毒予防について）」の有用度合

	全 体	①役に立った	②役に立たなかった	③どちらでもない	④今回初めて見たので、分からない	無回答・無効回答
合計(人)	306	227	7	38	32	2
%	100.0	74.2	2.3	12.4	10.5	0.7

問 14.2 「新型インフルエンザ（インフルエンザ A/H1N1）に関する情報」に掲載している「食品安全委員会（食中毒予防について：お子様向け）」の有用度合

	全 体	①役に立った	②役に立たなかった	③どちらでもない	④今回初めて見たので、分からない	無回答・無効回答
合計(人)	306	182	19	63	32	10
%	100.0	59.5	6.2	20.6	10.5	3.3

問 14.3 「新型インフルエンザ（インフルエンザ A/H1N1）に関する情報」に掲載している「関係機関へのリンク」の有用度合

	全 体	①役に立った	②役に立たなかった	③どちらでもない	④今回初めて見たので、分からない	無回答・無効回答
合計(人)	306	135	26	96	38	11
%	100.0	44.1	8.5	31.4	12.4	3.6

問 14.4 「新型インフルエンザ（インフルエンザ A/H1N1）に関する情報」に掲載している「食品の安全性に係る関係機関の見解およびQ&A」の有用度合

	全 体	①役に立った	②役に立たなかった	③どちらでもない	④今回初めて見たので、分からない	無回答・無効回答
合計(人)	306	163	13	72	47	11
%	100.0	53.3	4.2	23.5	15.4	3.6